Genie®
A TEREX BRAND

操作説明書

S-85

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

メンテナンス情報付き

Seventh Edition
Third Printing
Part No. T107108JA

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許されます。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、弊社にお問い合わせください。

お問合せ先:

インターネット:www.genielift.com

E メール:awp.techpub@terex.com

目次

はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義 3
一般的な安全 5
作業員の安全 11
作業場の安全 12
説明 21
操作パネル 22
点検 30
操作手順 42
輸送および持ち上げの手順 53
メンテナンス 56
仕様 60

Copyright © 1995 Terex Corporation

第 7 版:第 3 刷 2014 年 2 月

Genie および "S" は米国およびその他の国における
Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。

本機械は ANSI/SIA A92.5
CAN B.354.4 に
適合しています。

はじめに

所有者、ユーザー、およびオペレータ:

弊社の装置をお選びいただきありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。装置のユーザーまたはオペレータとして次の点を実施いただくことによって、安全に大きく貢献いただけると考えます。

1 従業員規則、作業現場の規則、および法規に**従う**。

2 **本マニュアルなど、装置に付属して**いるマニュアルの指示を読み、理解して従う。

3 **作業場における一般的な**安全管理を行う。

4 **訓練を受けたオペレータあるいは承認されたオペレータのみが、**事情に通じ知識が豊富な監督の指示を受けながら機械を操作する。



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ― 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

はじめに

危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報マーク ― ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

危険

回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

警告

回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

要注意

回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意

物品の損傷に関するメッセージです。

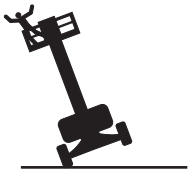
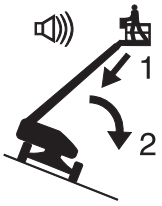
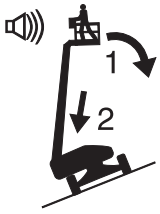
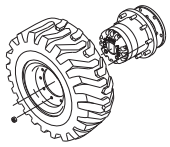
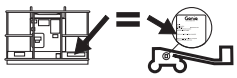
用途

本製品は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることのみを用途としています。

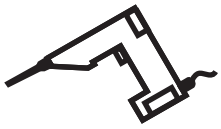
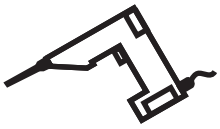
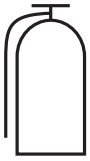
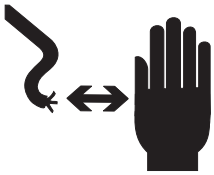
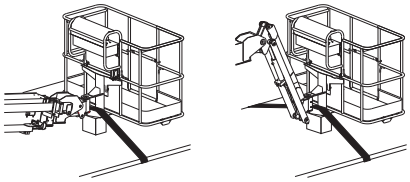
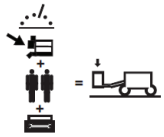
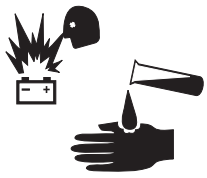
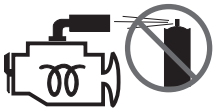
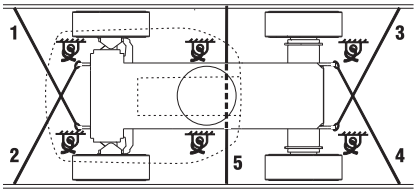
安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

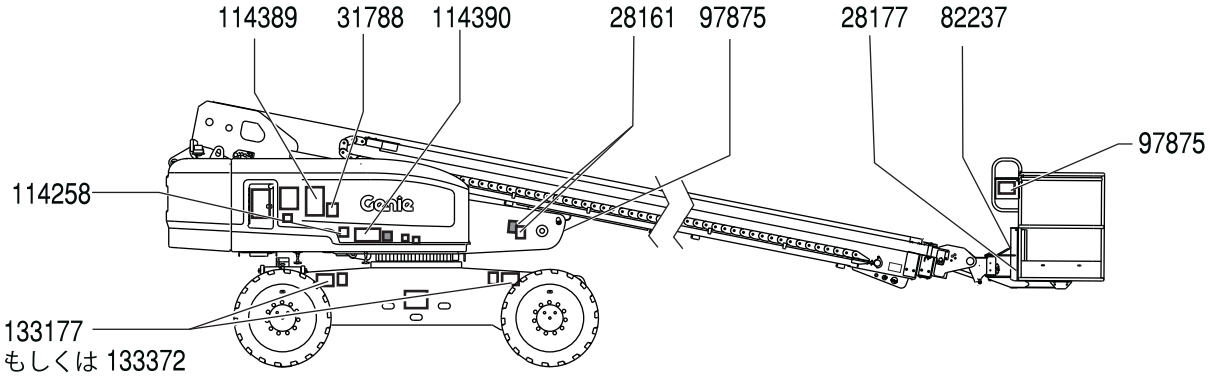
シンボルと危険を表すイラストの定義

 挟まる危険	 可動部に近づかないでください	 爆発の危険	 禁煙. 火気厳禁. エンジン停止.	 感電の危険
 必要な間隔を維持してください	 挟まる危険	 移動する作業台の軌道に入らないでください	 落下の危険	 この面に乗らないでください
 転倒の危険	 下り傾斜にある作業台: 1 ブームを収縮します。 2 ブームを下ろします。	 上り傾斜にある作業台: 1 ブームを下ろします。 2 ブームを収縮します。	 転倒の危険	 同様の仕様のタイヤと交換してください。
 転倒の危険	 操作説明書を読んでください	 適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください	 転倒の危険	 シリアルプレートで定格荷重を確認してください。

シンボルと危険を表すイラストの定義

 安全帯の取り付け場所	 車輪荷重	 作業台への電力の定格電圧	 作業台への空気配管の定格圧力	 近くに消火器を用意してください。
 感電の危険	 接触を避ける	 荷締めの手順		 サービスマニュアルを読んでください
 最大積載荷重には溶接機の重量が含まれます。	 炎を近づけないでください	 爆発/やけどの危険	 爆発の危険	 グロープラグを搭載した機械に、エーテルなどの高エネルギーな始動補助剤を使用しないでください。
 荷締めの手順	 火災の危険			

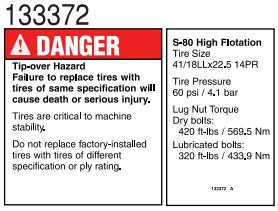
一般的な安全



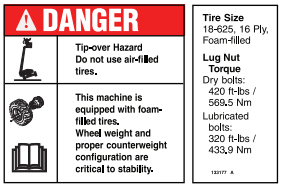
97875



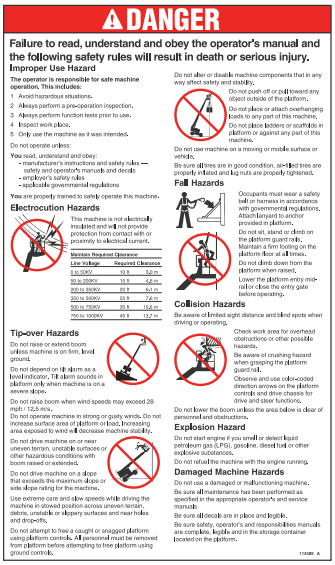
133372



133177



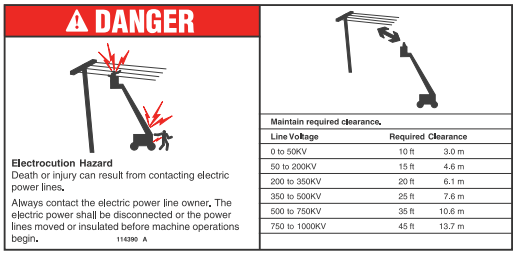
114389



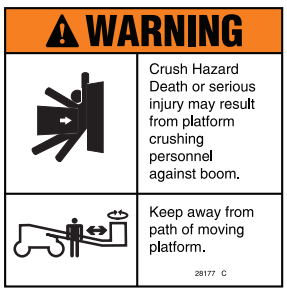
82237



114390



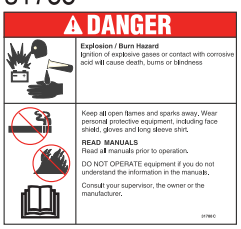
28177



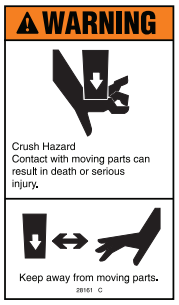
114258



31788

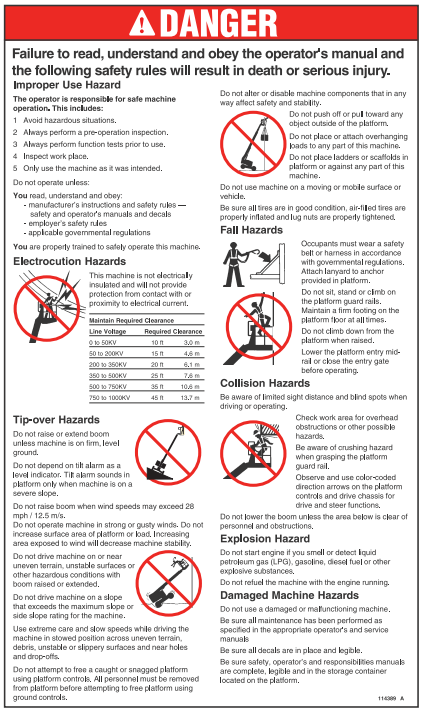


28161

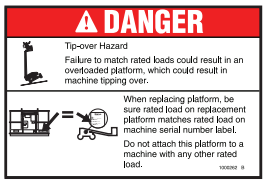


一般的な安全

114389

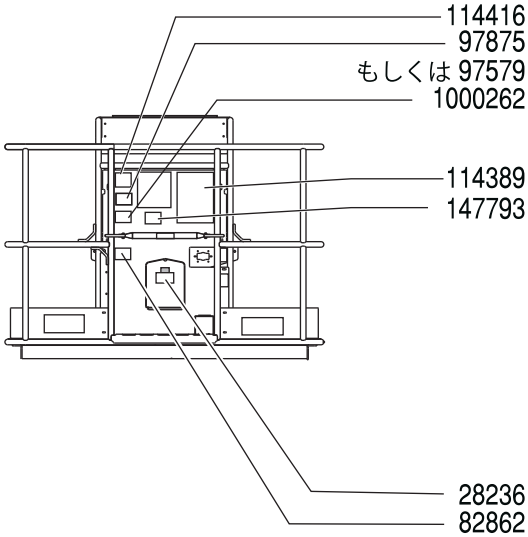


1000262

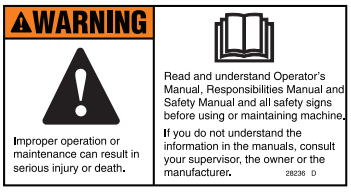


82862

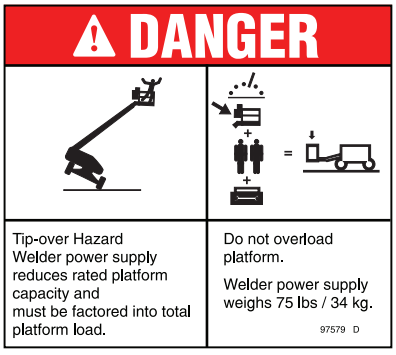




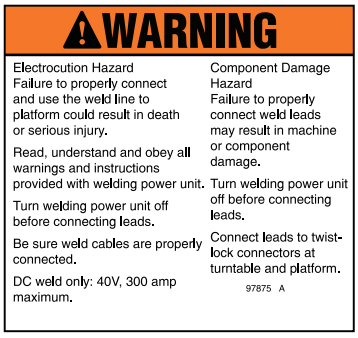
28236



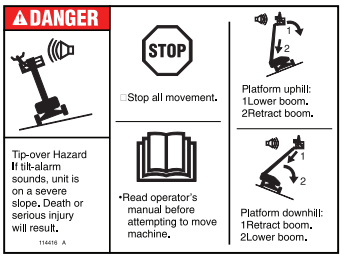
97579



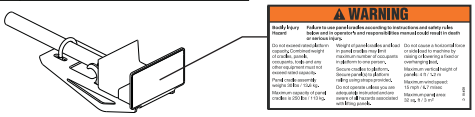
97875



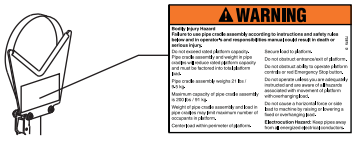
114416



82410

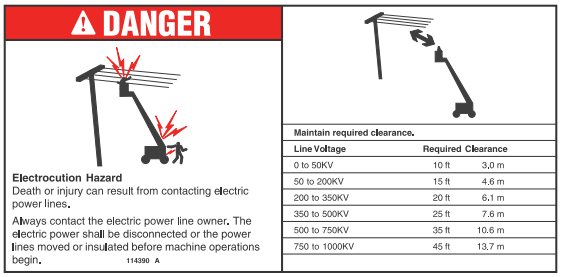


72875

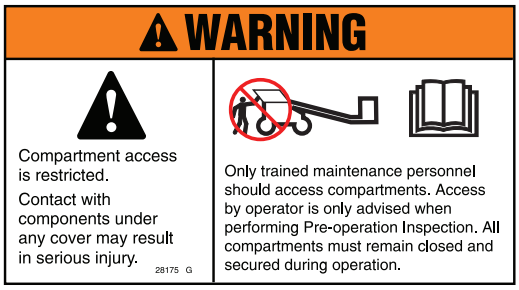


一般的な安全

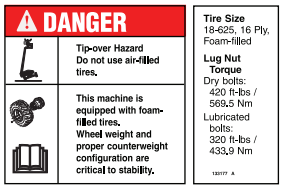
114390



28175



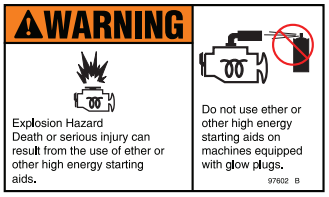
133177



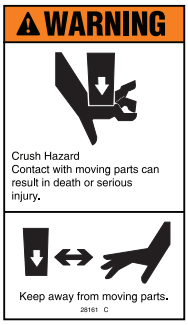
28181



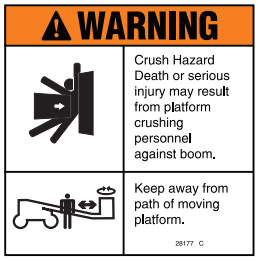
97602



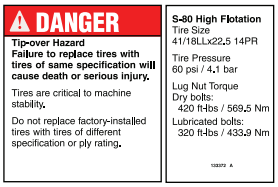
28161

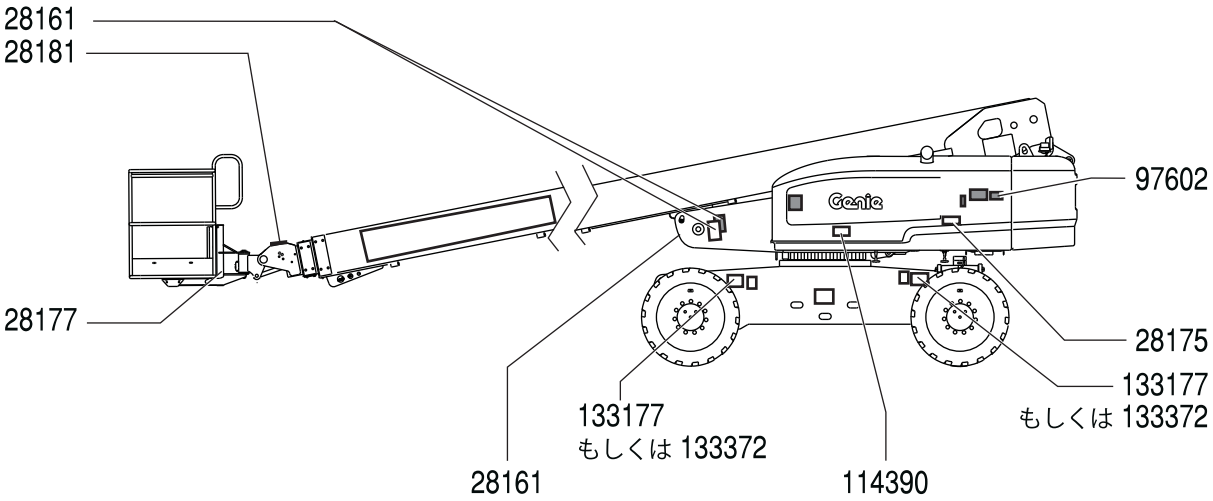


28177

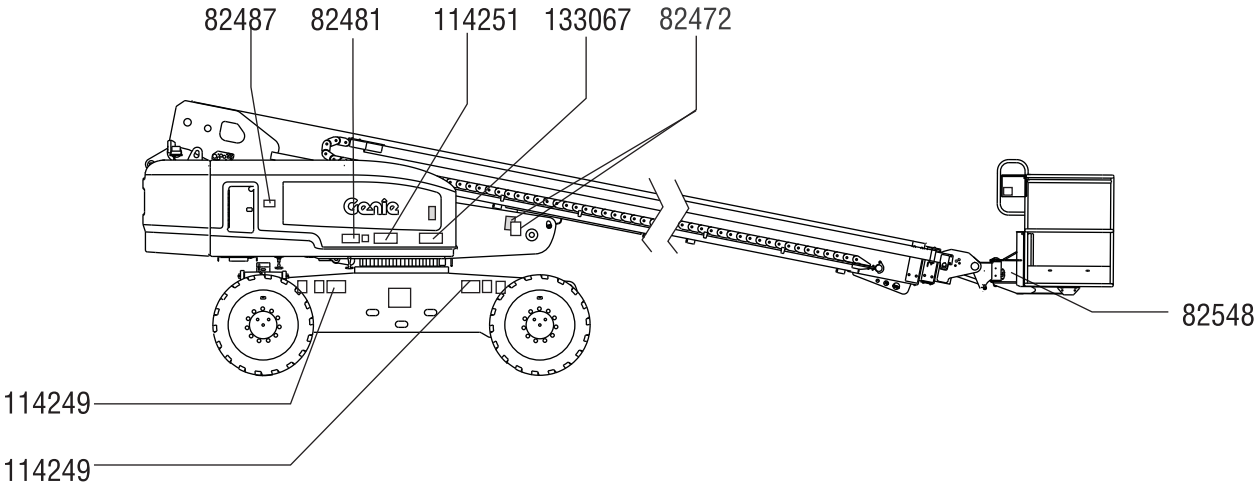


133372

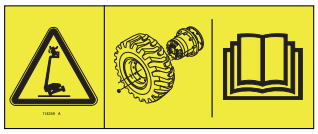




一般的な安全



114249



82487



114251



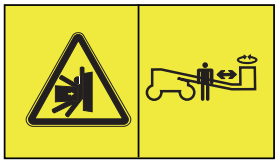
133067



82472



82548



82481

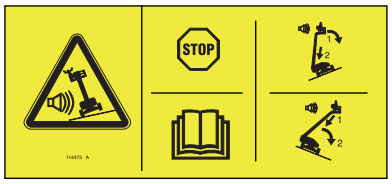


一般的な安全

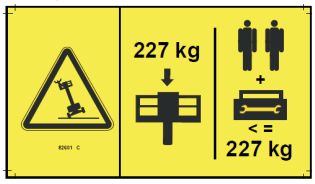
82487



114473

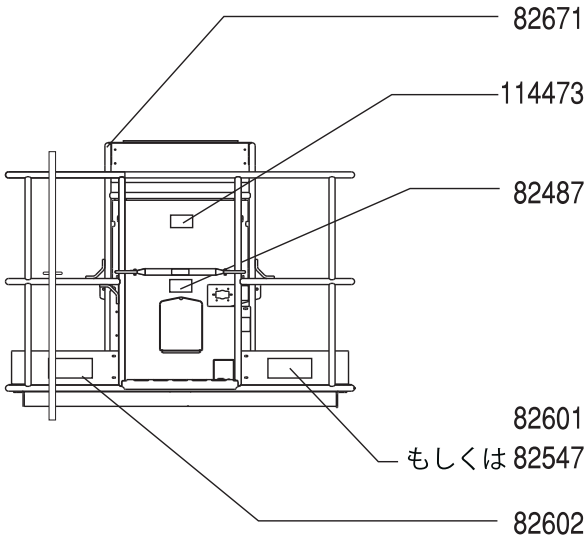


82601

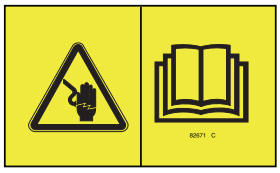


82547

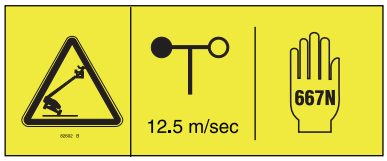




82671



82602

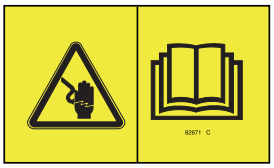


一般的な安全

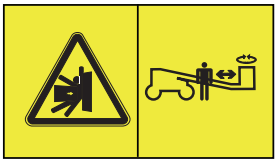
114247



82671



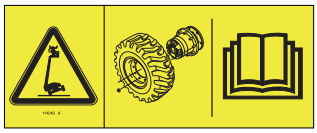
82548



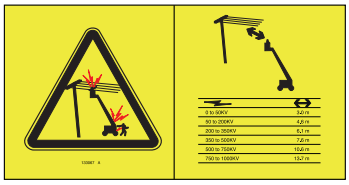
82472



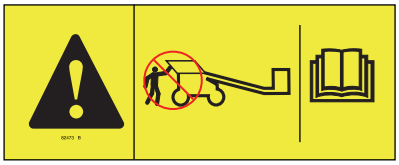
114249

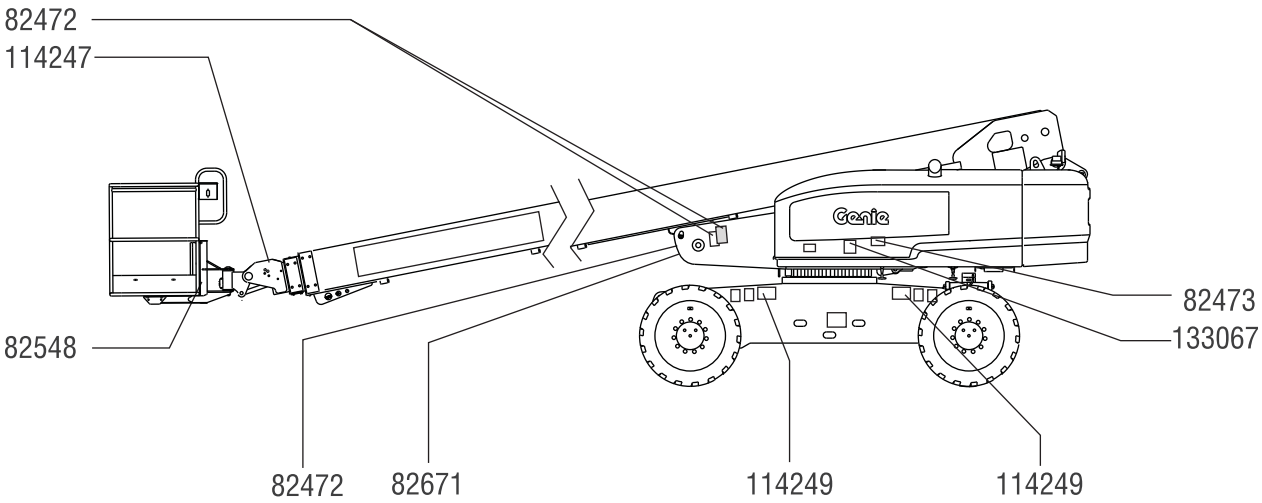


133067



82473





作業員の安全

作業員の落下防止

この機械を操作する際、落下防止装置 (PFPE) の着用が必要です。

作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。

安全装備の使用に関して、作業員は従業員規則、作業現場の規則、および法規に従う必要があります。

すべての PFPE は、適用した法規に準拠したものでなければならず、PFPE 取扱説明書の指示に従って検査して使用してください。

作業場の安全

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



電線から離す必要のある距離については、地域および国のすべての規制に従ってください。少なくとも、以下の表に記載の必要距離を空けなければなりません。

線間電圧		必要な距離
0 ～ 50KV	10 ft	3.05 m
50 ～ 200KV	15 ft	4.60 m
200 ～ 350KV	20 ft	6.10 m
350 ～ 500KV	25 ft	7.62 m
500 ～ 750KV	35 ft	10.67 m
750 ～ 1000KV	45 ft	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。



通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

作業台最大積載荷重量	500 lbs	227 kg
最大作業員数		2

定格作業台最大積載荷重量には、パイプクレードル、パネルクレードル、溶接機などのオプションや付属品の重量が含まれるため、作業台積載荷重量からこれらの重量を差し引く必要があります。オプションおよび付属品に付いているステッカーを参照してください。

付属品を使用する場合には、付属品に付いているステッカー、指示およびマニュアルをよく読んで理解し、従ってください。

作業場の安全

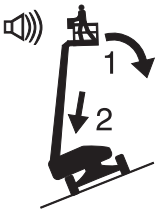


機械を固い水平な地面に設置している場合以外は、ブームを上昇もしくは延長しないでください。



水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

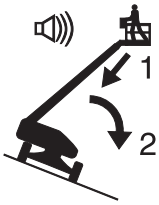
作業台を上昇させるときに傾斜アラームが鳴った場合には、最新の注意を払ってください。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。固い水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。



作業台が上り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 ブームを下ろします。

2 ブームを収縮します。



作業台が下り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 ブームを収縮します。

2 ブームを下ろします。



風速が秒速 28 mph / 12.5 m を超える場合はブームを上げないでください。秒速 28 mph / 12.5 m 以上の風速のもとでブームを上げている場合は、ブームを下げ、機械の操作を中止してください。

強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。

作業場の安全



平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

平らでない不安定な地面、またはその他の危険がある状況では、ブームを上昇したあるいは延長した状態で機械を走行しないでください。

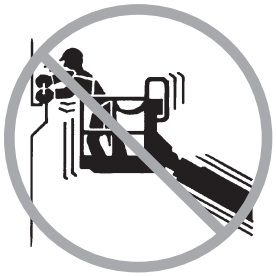
機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体をブームで押さないでください。

ブームを近辺の建造物に接触させないでください。

ブームや作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大側方圧力— ANSI & CSA
150 lbs (68 kg) / 667 N

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

工場出荷時に取り付けられているタイヤを、異なる仕様またはプライ数評価値のものと交換しないでください。

工場出荷時に取り付けられているフォームタイヤを空気圧タイヤに交換しないでください。ホイールの重量は、安定性に大きな影響を及ぼします。

ハイフローテーションタイヤの取り付けは工場出荷時に行います。工場出荷時に取り付けられている標準のタイヤをハイフローテーションタイヤに交換しないでください。

作業場の安全

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好であり、タイヤに適切に空気が入れられていること、およびラグナットが適切に締められていることを確認してください。

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かったりして、通常の運行を妨げられている作業台を、作業台操作を使用して解放しようとしないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

⚠ 傾斜面での操作の危険

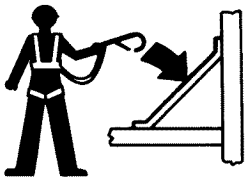
機械の最大上り、下りおよび横勾配の定格値を超える斜面では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納状態の場合にのみ適用されます。

最大定格勾配、収納状態、2WD		
作業台が下り傾斜にある場合	30%	(17°)
作業台が上がり傾斜にある場合	15%	(9°)
横勾配	25%	(14°)
最大定格勾配、収納状態、4WD		
作業台が下り傾斜にある場合	45%	(24°)
作業台が上がり傾斜にある場合	30%	(17°)
横勾配	25%	(14°)

注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

作業場の安全

⚠ 落下の危険



作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。



作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



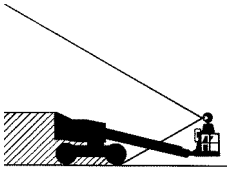
作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

機械が作業台を収納した状態で、作業台が地上にある場合以外は、作業台に出入りしないでください。

⚠ 衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置および後方車体の揺れに注意してください。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。

作業場の安全

走行や操舵機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの色分けされた方向矢印をよく見てください。



ブームを下げる場合は、下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

クレーンの軌道内においてブームを操作する場合は、必ずクレーンの制御をロックし、衝突を防ぐための予防措置を講じてください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

⚠ 人体への傷害の危険

一酸化炭素中毒を避けるため、常によく換気された場所で機械を操作してください。

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

⚠ 爆発と火災の危険

LP ガス、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、あるいはそれらを検知した場合は、エンジンを始動しないでください。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、換気された広い場所で行ってください。

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

グロープラグを搭載したエンジンにエーテル製スプレーをかけないでください。

作業場の安全

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、機械の保管場所に保管されているようにしてください。

⚠ 部品の損傷の危険

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動する場合は、12V より高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

非常に磁気の高い場所が近くに存在するような現場では、機械を操作しないでください。

⚠ バッテリーの安全管理

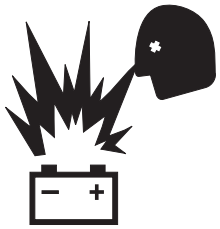
やけどの危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

爆発の危険







火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

⚠ 感電の危険

電気端子に触れないでください。

作業場の安全

⚠ 溶接機の安全

溶接電源ユニットに付いているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

溶接リードまたはケーブルを接続する場合は、必ず溶接電源ユニットを作業台操作でオフにした状態で行ってください。

必ず溶接ケーブルが正しく接続され、溶接機が適切に接地されている状態で操作してください。

定格作業台最大積載荷重量には溶接機の重量が含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。溶接機の電源の重量は 75 lbs / 34 kg です。

溶接機の操作は、OSHA 規則 1926.352(d) に従って、必ず消火器が直ちに使用できるような状態で行ってください。

⚠ 作業台への溶接ラインの安全

溶接電源ユニットに付いているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

溶接リードまたはケーブルを接続する場合は、必ず溶接電源ユニットを作業台操作でオフにした状態で行ってください。

溶接ケーブルが正しく接続されていない場合は、操作しないでください。

プラス極側のリード線をターンテーブルと作業台にあるツイストロック コネクタに接続してください。

マイナス極側のリード線を、ターンテーブルおよび作業台の接地ポストに接続してください。

⚠ パイプクレードルの安全

パイプクレードルに付いているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

定格作業台積載荷重量を超えないでください。パイプクレードルのアッセンブリとパイプクレードルの重量は定格作業台積載荷重量に含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。

パイプクレードルのアッセンブリの重量は 21 lbs / 9.5 kg です。

パイプクレードルのアッセンブリの最大積載重量は 200 lbs / 91 kg です。

パイプクレードルのアッセンブリとパイプクレードルの積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が制限される可能性があります。

積荷を作業台の外周の中心に置いてください。

積荷を作業台に固定してください。

作業台への出入りが妨げられないようにしてください。

作業台操作や赤色の緊急停止ボタンの操作が妨げられないようにしてください。

荷がぶら下がっている状態の作業台の移動に関する危険について、すべて適切に指示され認識している場合以外は、操作を行わないでください。

機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている積荷やぶら下っている状態の積荷を上下に移動させないでください。

感電の危険:パイプを通電状態の導体にいっさい近づけないでください。

作業場の安全

⚠ パネルクレードルの安全

パネルクレードルに付いているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

定格作業台積載荷重量を超えないでください。クレードル、パネル、作業員、工具、その他の機材を合わせた重量が最大定格重量を超えてはいけません。

パネルクレードルのアッセンブリの重量は 30 lbs / 13.6 kg です。

パネルクレードルの最大積載重量は 250 lbs / 113 kg です。

パネルクレードルとパネルクレードル内の積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が制限される可能性があります。

クレードルを作業台に固定してください。付属のストラップでパネルを作業台の手摺りに固定します。

パネルを持ち上げる危険について、すべて適切に指示され、認識している場合以外は、操作を行わないでください。

機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている積荷やぶら下っている状態の積荷を上下に移動させないでください。

パネルの最大垂直高さ:4 ft / 1.2 m

最大風速:15 mph / 6.7 m/秒

最大パネル面積:32 sq ft / 3 m^2

牽引装置本体の安全

牽引装置本体に付いているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

車両がフリーホイール設定の場合にはブレーキ機能がなく、機械が動くことによって死、重傷に至る、もしくは対物事故となる可能性があります。

最大牽引速度、または最大牽引時間を超えてはいけません。

最大牽引速度	8 mph / 12.87 km/時
時速 8 mph / 13 km での最大牽引時間	30 分
時速 6 mph / 10 km での最大牽引時間	60 分

使用後のロックアウト

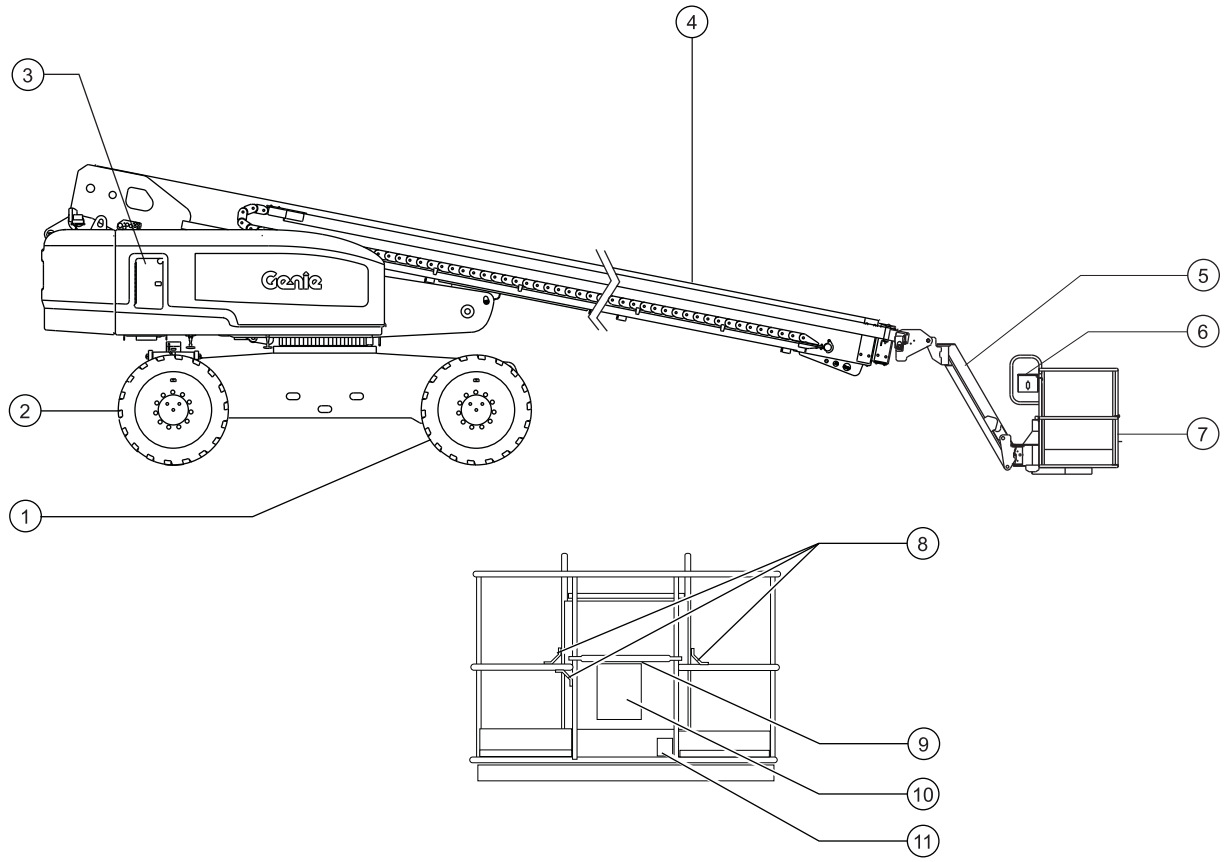
1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが非操舵ホイールの間にくるように、ターンテーブルを回転させます。

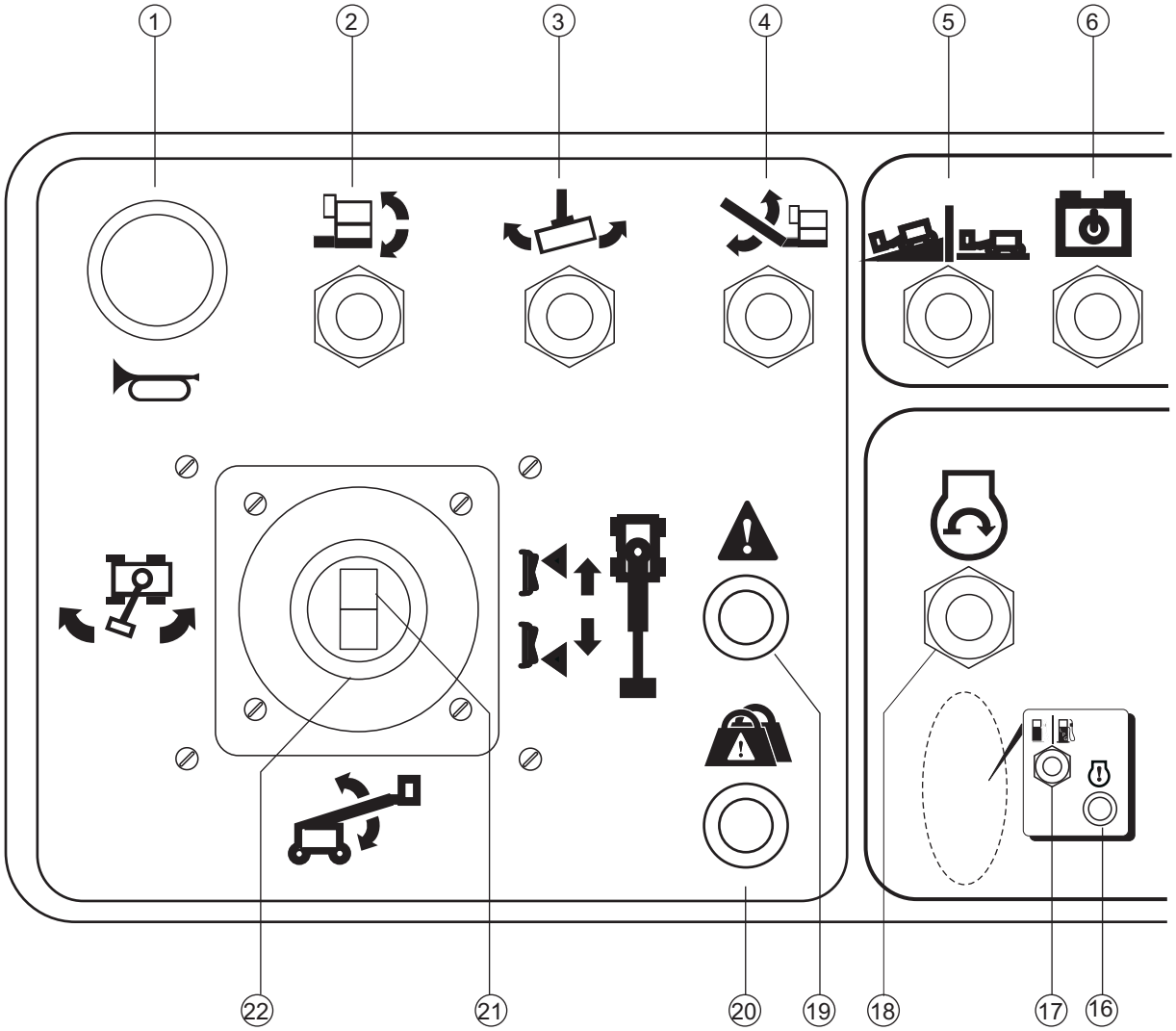
4 キースイッチを OFF (オフ) の位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

説明

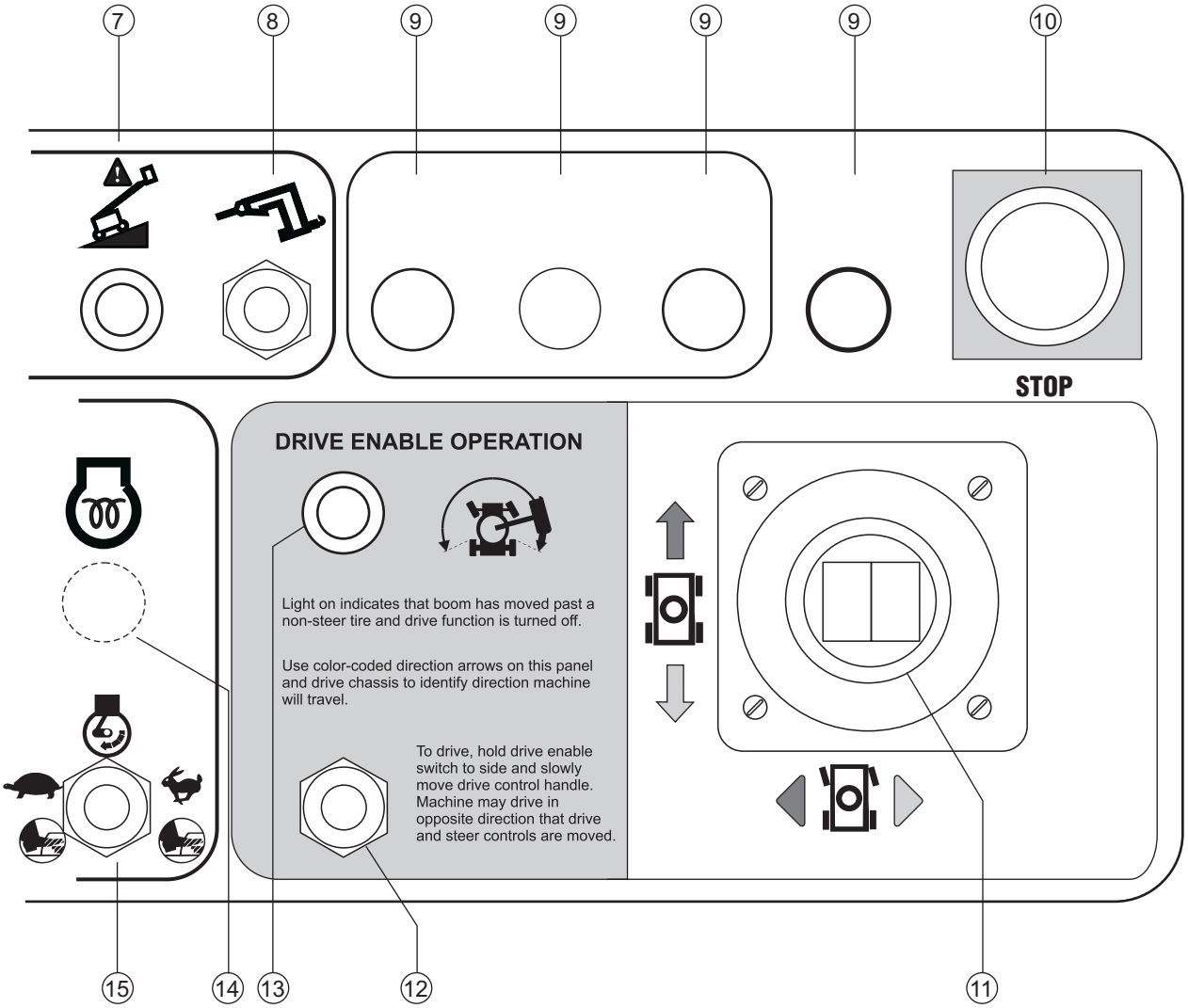


1 非操舵側タイヤ
2 操舵輪
3 地上操作パネル
4 ブーム
5 ジブブーム
6 作業台操作パネル
7 作業台
8 安全帯固定場所
9 スライド式中間レール
10 マニュアル保管場所
11 ペダルスイッチ

操作パネル



操作パネル


7
8
9
9
9
9
10
STOP
DRIVE ENABLE OPERATION
Light on indicates that boom has moved past a non-steer tire and drive function is turned off.
Use color-coded direction arrows on this panel and drive chassis to identify direction machine will travel.
To drive, hold drive enable switch to side and slowly move drive control handle. Machine may drive in opposite direction that drive and steer controls are moved.
15
14
13
12
11

操作パネル

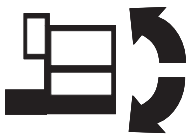
作業台操作パネル

1 ホーンボタン

このボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ボタンを離すと、ホーンが止まります。

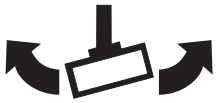
2 作業台水平スイッチ

作業台水平スイッチを上に動かすと、作業台が上昇します。作業台水平スイッチを下に動かすと、作業台が下に移動します。



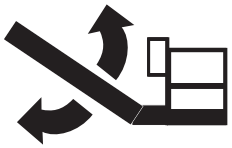
3 作業台回転スイッチ

作業台回転スイッチを左に動かすと、作業台が左に回転します。
作業台回転スイッチを右に動かすと、作業台が右に回転します。



4 ジブブーム上昇/下降スイッチ

ジブブームスイッチを上に動かすと、ジブブームが上昇します。ジブブームスイッチを下に動かすと、ジブブームが下降します。



5 走行速度選択スイッチ

機械が傾斜面上にあるシンボル：傾斜用の狭範囲操作。
機械が水平面上にあるシンボル：最大走行速度用の広範囲運転。

6 非常電源スイッチ

主動力源（エンジン）が停止した場合、非常動力を使用してください。
非常電源スイッチをいずれかの側に押したままにして、同時に必要な機能を作動させます。

7 非水平表示ランプ

傾斜アラームが鳴っている間ランプが点灯します。平らな地面に機械を移動してください。

8 発電機スイッチ（搭載されている場合）

発電機を作動させるには、発電機ボタンを上に動かします。発電機を停止するにはスイッチを下に動かします。

9 未使用

10 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) の位置にすると、全機能が停止し、エンジンがオフになります。赤色非常停止ボタンを引いて ON（オン）の位置にして、機械を操作します。

操作パネル

11 走行および操舵機能用ダブル車軸比例コントロール ハンドル
もしくは 走行機能用比例コントロール ハンドルおよび操舵機能用ロッカースイッチ.

操作パネルの青色矢印の方向にコントロール ハンドルを動かすと、機械が前方に走行します。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、機械が後方に走行します。コントロール ハンドルを青色三角の方向へ動かすと、機械が左側に曲がります。コントロール ハンドルを、黄色の三角形の方向に動かすと、機械が右に曲がります。
もしくは
コントロール ハンドルを操作パネルの青色の矢印の方向に動かすと、機械が前方に走行します。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、機械が後方に走行します。ロッカースイッチの左側を押すと、機械が左に曲がります。ロッカースイッチの右側を押すと、機械が右に曲がります。

12 走行機能スイッチ

走行機能表示ランプが点灯しているときに走行するには、走行機能スイッチをいずれかの側に押したまま、走行コントロールハンドルを中央からゆっくり動かします。走行コントロール ハンドルおよび操舵コントロール ハンドルの方向とは反対の方向に機械が動く場合があるので、注意してください。

13 走行機能表示ランプ

ブームが非操舵輪を越えて移動し、走行機能が妨げられると、ランプが点灯します。

14 グロープラグスイッチ（搭載されている場合）

グロープラグスイッチをどちらか一方に動し、3～5 秒そのままにします。

15 エンジンアイドリング (rpm) 選択スイッチ

エンジンアイドリング選択スイッチをカメの位置に動かすと、ペダルスイッチにより低速アイドリングが開始します。
エンジンアイドリング選択スイッチをウサギの位置に動かすと、ペダルスイッチにより高速アイドリングが開始します。

16 LCD 画面付きのモデル：エンジン運転停止表示ランプ

エンジンが停止した場合に、このランプが点灯します。サービス担当者に連絡してください。

17 ガソリン/LPG モデル： 燃料選択スイッチ

燃料選択スイッチをガソリンの位置に動かしてガソリンを選択します。燃料選択スイッチを LPG の位置に動かして LPG を選択します。

18 エンジン始動スイッチ

エンジン始動スイッチをいずれかの側に動かすと、エンジンが始動します。

19 機械故障インジケーターランプ

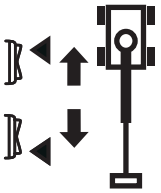
ランプが点灯している場合は、すべての機能が停止しています。「操作手順」のセクションをご覧ください。

操作パネル

20 未使用

21 ブーム伸長/収縮機能用ロッカースイッチ

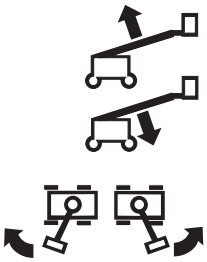
ロッカースイッチの上部を押すと、ブームが収納します。ロッカースイッチの底部を押すと、ブームが伸長します。



22 ブーム上昇/下降およびターンテーブル左右旋回機能用、ダブル車軸比例コントロール ハンドル

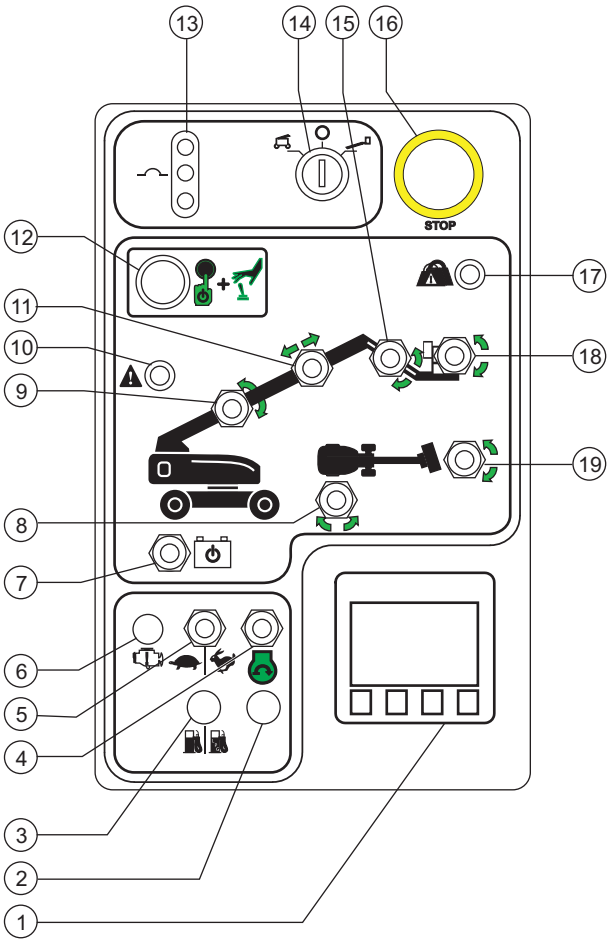
コントロールハンドルを上に動かすと、ブームが上昇します。コントロールハンドルを下に動かすと、ブームが下降します。

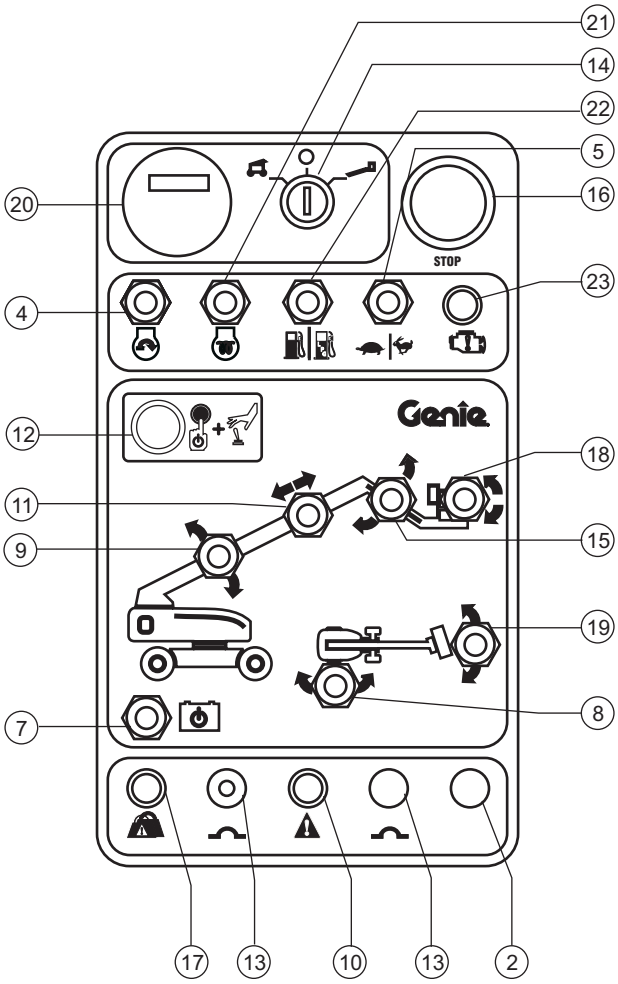
コントロールハンドルを右に動かすと、ターンテーブルが右に回転します。コントロールハンドルを左に動かすと、ターンテーブルが左に回転します。



操作パネル

S-85 の地上操作パネルは、これら 2 種類のスタイルのいずれかになります。このセクションの説明と、「機能テスト」およびの「操作手順」の手順は、特に記載されていない限り両方の操作パネルに適用されます。





操作パネル

地上操作パネル

1 LCD 出力画面

画面には、時間計、電圧、油圧および冷却水温度が表示されます。また、故障コードとその他の点検情報も表示されます。

2 未使用

3 未使用

4 エンジン始動スイッチ

エンジン始動スイッチをいずれかの側に動かすと、エンジンが始動します。

5 エンジンアイドリング (rpm) 選択スイッチ

エンジンアイドリング選択スイッチをカメの位置に動かすと、ペダルスイッチにより低速アイドリングが開始します。
エンジンアイドリング選択スイッチをウサギの位置に動かすと、ペダルスイッチにより高速アイドリングが開始します。

6 未使用

7 非常電源スイッチ

主動力源（エンジン）が停止した場合、非常動力を使用してください。
非常電源スイッチをいずれかの側に押したままにして、同時に必要な機能を作動させます。

8 ターンテーブル旋回スイッチ

ターンテーブル旋回スイッチを右に動かすと、ターンテーブルが右に旋回します。ターンテーブル旋回スイッチを左に動かすと、ターンテーブルが左に旋回します。

9 ブーム上下スイッチ

ブーム上下スイッチを上に動かすと、ブームが上昇します。ブーム上下スイッチを下に動かすと、ブームが下降します。

10 機械故障インジケーターランプ

ランプが点灯している場合は、すべての機能が停止しています。「操作手順」のセクションをご覧ください。

11 ブーム伸長/収納スイッチ

ブーム伸長/収納スイッチを右に動かすと、ブームが伸長します。ブーム伸長/収納スイッチを左に動かすと、ブームが収納します。

12 機能作動スイッチ

機能作動ボタンを押したままにすると、地上操作パネルの機能を操作できます。

13 回路ブレーカー

操作パネル

14 オフ/地上/作業台選択用キースイッチ

キースイッチを OFF (オフ) の位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを地上位置に回すと、地上操作が作動します。キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。

15 ジブブーム上昇/下降スイッチ

ジブブームスイッチを上に動かすと、ジブブームが上昇します。ジブブームスイッチを下に動かすと、ジブブームが下降します。

16 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) の位置にすると、全機能が停止し、エンジンがオフになります。赤色非常停止ボタンを引いて ON（オン）の位置にして、機械を操作します。

17 未使用

18 作業台水平スイッチ

作業台水平スイッチを上に動かすと、作業台が上昇します。作業台水平スイッチを下に動かすと、作業台が下に移動します。

19 作業台回転スイッチ

作業台回転スイッチを右に動かすと、作業台が右に回転します。作業台回転スイッチを左に動かすと、作業台が左に回転します。

20 時間計

時間計は、機械を操作した時間数を表示します。

21 グロープラグスイッチ

グロープラグスイッチをどちらか一方に動し、3～5 秒そのままにします。

22 ガソリン/LPG モデル：燃料選択スイッチ

燃料選択スイッチをガソリンの位置に動かしてガソリンを選択します。燃料選択スイッチを LPG の位置に動かして LPG を選択します。

23 エンジン点検ランプ

ランプが点灯し、エンジンが停止した場合：故障の張り紙をつけて作業を中止してください。
ランプが点灯して、エンジンがまだ作動している場合：24 時間以内にサービス担当者に連絡してください。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあるか確認します。「点検」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックしてください。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジンオイルの漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジン冷却液の漏れがないか、冷却液の量が適当かどうかをチェックしてください。必要に応じて冷却液を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ タイヤの空気圧が適切であることをチェックします。必要に応じて空気を入れてください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❑ 燃料と油圧タンク
- ❑ 走行とターンテーブル用のモーター、および走行ハブ
- ❑ 磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ エンジンと関連部品
- ❑ リミットスイッチと警報
- ❑ アラームとビーコン（装備されている場合）
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ 作業台出入口中間レールまたはゲート

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❑ 点検が終了後、コンパートメントのすべてのカバーがすべてしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

地上操作

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した水平な場所を選びます。

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) の位置にします。

⊙ 結果:ビーコンが点滅します (搭載されている場合)。

4 エンジンを始動させます。「操作手順」のセクションを参照してください。

非常停止のテスト

5 赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) の位置にします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、エンジンを再始動します。

機械機能のテスト

7 機能作動ボタンを押さないでください。各ブームと作業台の機能トグルスイッチが作動するか試します。



⊙ 結果:ブームおよび作業台の機能は何も作動しません。

8 機能作動ボタンを押したままにし、各ブームおよび作業台トグルスイッチを有効にします

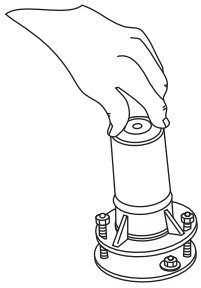
⊙ 結果:ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。ブームが下降しているときには下降アラームが鳴ります (搭載されている場合)。

傾斜センサーのテスト

9 作業台の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) の位置にします。キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

10 タンク側のターンテーブルカバーを開いて、燃料タンクの横にある傾斜センサーを見つけます。

11 傾斜センサーの片側を下に押します。



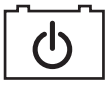
⊙ 結果:作業台のアラームが鳴ります。

非常操作のテスト

12 キースイッチを回して地上操作にし、エンジンを停止します。

13 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

14 非常電源スイッチをオンにしたまま、同時に各ブーム機能トグルスイッチを作動させます。



注記:バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果:すべてのブーム機能が作動します。

点検

作業台操作

非常停止のテスト

15 作業台に入り、赤色非常停止ボタンを引き出します。エンジンを始動させます。

16 作業台の赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

17 赤色非常停止ボタンを引いてエンジンを再始動します。

警報のテスト

18 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果:ホーンが鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

19 作業台の赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にします。

20 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) の位置にします。エンジンは始動しないでください。

21 ペダルスイッチを踏み、始動トグルスイッチをどちらか片側に動かして、エンジンが始動するか試します。

⊙ 結果:エンジンは始動しません。

22 ペダルスイッチを踏まずにエンジンを再始動します。

⊙ 結果:エンジンは始動します。

23 ペダルスイッチを踏まずに各機械機能をテストします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

機械機能のテスト

24 ペダルスイッチを踏みます。

25 各機械機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果:ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。

ステアリングのテスト

26 ペダルスイッチを踏みます。

27 走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青色の三角が示す方向に押します。あるいは、コントロールハンドルをゆっくりと青色の三角が示す方向に動かします。

⊙ 結果:操舵輪が走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

28 ロッカースイッチを操作パネルの黄色い三角が示す方向に押します。あるいは、コントロールハンドルを、黄色い三角が示す方向にゆっくりと動かします。

⊙ 結果:操舵輪が走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

点検

走行とブレーキのテスト

29 ペダルスイッチを踏みます。

30 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に、機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が走行シャーシの青色矢印の方向に動き、急停車します。

31 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が走行シャーシの黄色矢印の方向に動き、急停車します。

注記:ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

振動軸のテスト(搭載されている場合)

32 作業台操作でエンジンを始動します。

33 右の操舵側タイヤを 6 in / 15 cm のブロックまたは留めぐつわの上に置きます。

⊙ 結果:他の 3 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

34 左の操舵側タイヤを 6 in / 15 cm のブロックまたは留めぐつわの上に置きます。

⊙ 結果:他の 3 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

35 2 つの非操舵側タイヤを 6 in / 15 cm のブロックまたは留めぐつわの上で運転します。

結果:非操舵側タイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

走行機能システムのテスト

36 ペダルスイッチを踏み、ブームを収納位置まで下げます。

37 ブームが非操舵輪の 1 つを越えるまで、ターンテーブルを旋回します。

⊙ 結果:走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間、点灯を続けます。



38 走行コントロール ハンドルを中心の位置から動かします。

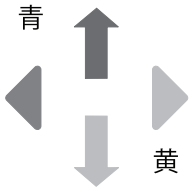
⊙ 結果:走行機能は作動しません。

39 走行機能トグルスイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

⊙ 結果:走行機能が作動します。

注記:走行機能システムを使用の際、走行および操舵コントロール ハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動く場合があります。

作業台操作および走行シャーシの色分けされた矢印で進む方向を確認してください。

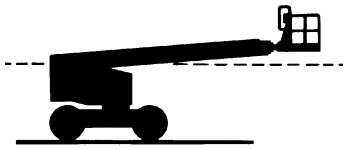


点検

走行制限速度のテスト

40 ペダルスイッチを踏みます。

41 ブームを水平より少し高く上げます。



42 コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:ブームが上昇した状態での最大走行速度は、秒速 1 ft / 30 cm を超えてはいけません。

43 ブームを下ろし収納します。

44 ブームを 18 in / 46 cm 伸長します。

45 コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:ブームを伸長した状態での最大走行速度は、秒速 1 ft / 30 cm を超えてはいけません。

ブームを上げた状態あるいはブームを伸長した状態で走行速度が秒速 1 ft / 30 cm を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

非常操作のテスト

46 エンジンを停止します。

47 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

48 ペダルスイッチを踏みます。

49 非常電源スイッチをオンにしたまま、同時に各機能コントロールハンドルあるいはトグルスイッチが作動するか試します。

注記:バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果:すべてのブームおよび操舵機能が作動します。走行機能は、非常電源では作動しません。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

点検

注意喚起語付きステッカーの点検

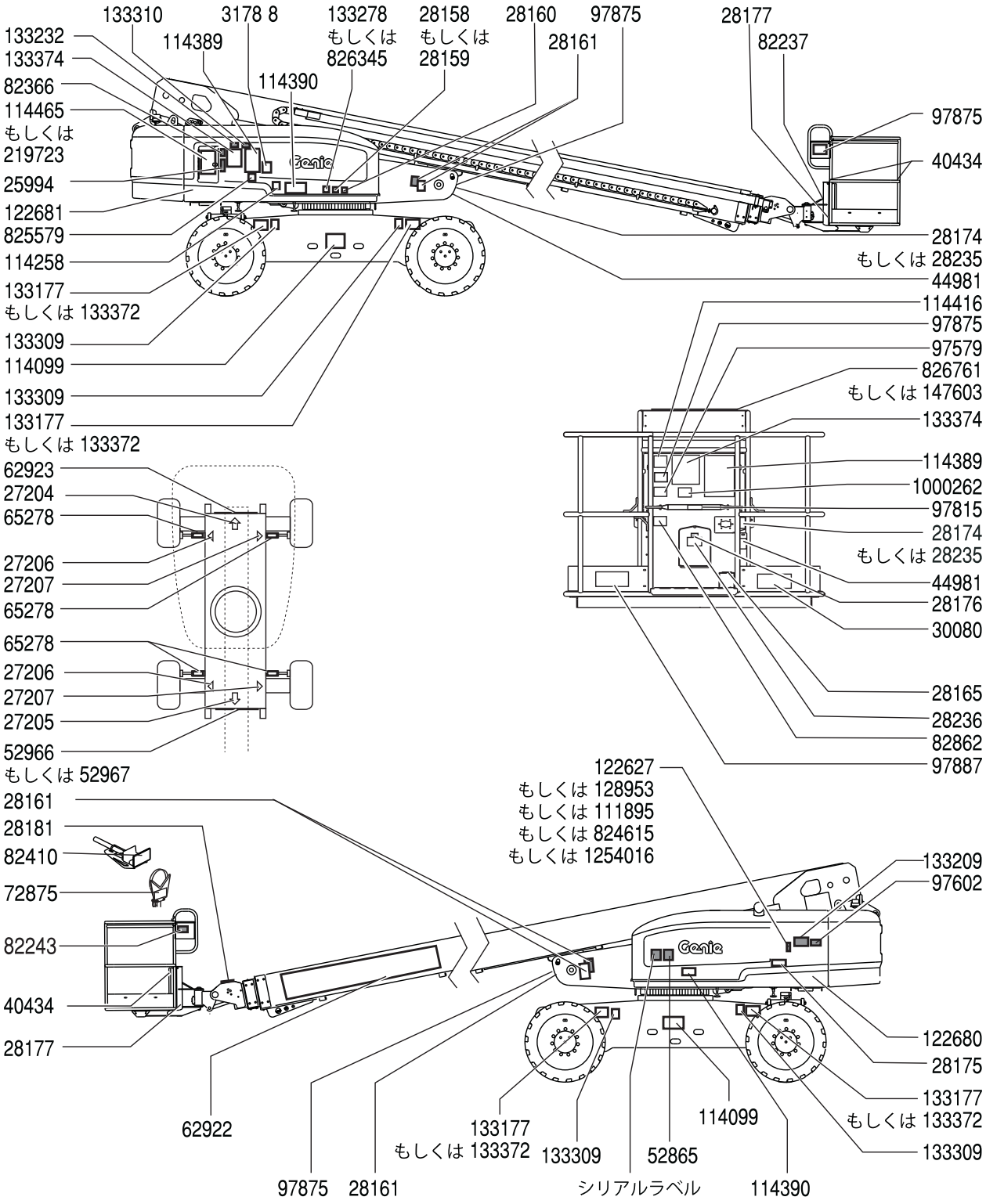
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

品番	ステッカーの説明	数量
25994	注意 ー 部品損傷の危険	1
27204	矢印 ー 青色	1
27205	矢印 ー 黄色	1
27206	三角 ー 青色	2
27207	三角 ー 黄色	2
28158	ラベル ー 無鉛	1
28159	ラベル ー ディーゼル	1
28160	ラベル ー 液化石油ガス	1
28161	警告 ー 手のケガの危険	5
28165	手順 ー ペダルスイッチ	1
28174	ラベル ー 作業台への電力、230V	2
28175	警告 ー コンパートメントへのアクセス	1
28176	ラベル ー 説明書の不備	1
28177	警告 ー 衝突の危険	2
28181	警告 ー 足をのせたり乗ったりしない	1
28235	ラベル ー 作業台への電力、115V	2
28236	警告 ー 不適切な操作	1
30080	指示 ー 最大積載量、500 lbs / 227 kg	1
31788	危険 ー 爆発/やけどの危険	1
40434	ラベル ー 安全帯固定箇所	8
44981	ラベル ー 作業台への空気管 (オプション)	2
52865	警告 ー 1 年毎の点検記録	1
52966	外装 ー 4 x 2	1
52967	外装 ー 4 x 4	1
62922	外装 ー Genie S-85	1
62923	外装 ー S-85	1
65278	要注意 ー 踏まない	2
72875	警告 ー パイプクレードル (オプション)	2
82237	危険 ー 感電の危険(オプション)	3
82366	ラベル ー Chevron Rando	1
82410	警告 ー パネルクレードル (オプション)	2
82862	危険 ー 消火器、溶接機 (オプション)	1
97579	危険 ー 転倒、溶接機 (オプション)	1
97602	警告 ー 爆発の危険	1
97815	ラベル ー 中間レールを下げる	1
97875	警告 ー 作業台への溶接ライン	2
97887	指示 ー 最大側方圧力、150 lbs / 667 N、ANSI	1
111896	指示 – Continental エンジン仕様	1
114099	ラベル ー 輸送図	2
114258	危険 ー 爆発の危険	1
114389	危険 ー 安全上の規則	2
114390	危険 ー 感電の危険	2
114416	危険 ー 転倒の危険、傾斜アラーム	1
114465	地上操作パネル	1
122627	指示 – Perkins エンジン仕様	1
128953	指示 ー Deutz エンジン仕様	1
133177	危険 ー 転倒の危険、フォームタイヤ	4
133209	ラベル – リレーヒューズパネル	1
133232	ラベル ー 非常電源バッテリー、12V	1
133278	ラベル ー 低硫黄燃料(ディーゼルモデル)	1
133309	ラベル ー ホイール荷重、S-85	4
133310	ラベル ー エンジン始動 & 制御用バッテリー	1
133372	ラベル ー タイヤ空気圧、ハイフローテーションタイヤ(オプション)	4
133374	指示 ー 操作指示	2
147603	作業台操作パネル	1
219723	地上操作パネル	1
823761	作業台操作パネル	1
824615	指示 – Deutz エンジン仕様、T4	1
825579	指示 – LCD 画面	1
826345	ラベル ー 超低硫黄燃料のみ(ディーゼルモデル)	1
1000262	危険 ー転倒、積載量	1
1254016	指示 – Perkins エンジン仕様、T4	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

点検


133310
3178 8
133278
もしくは
826345
28158
もしくは
28159
28160
97875
28161
28177
82237
133232
133374
82366
114465
もしくは
219723
25994
122681
825579
114258
133177
もしくは 133372
133309
114099
133309
133177
もしくは 133372
114389
114390
97875
40434
28174
もしくは 28235
44981
114416
97875
97579
826761
もしくは 147603
133374
114389
1000262
97815
28174
もしくは 28235
44981
28176
30080
28165
28236
82862
97887
62923
27204
65278
27206
27207
65278
65278
27206
27207
27205
52966
もしくは 52967
122627
もしくは 128953
もしくは 111895
もしくは 824615
もしくは 1254016
28161
28181
82410
72875
82243
40434
28177
133209
97602
122680
28175
133177
もしくは 133372
133309
62922
133177
もしくは 133372
133309
52865
114099
97875
28161
シリアルラベル
114390

点検

シンボルのついたステッカーの点検

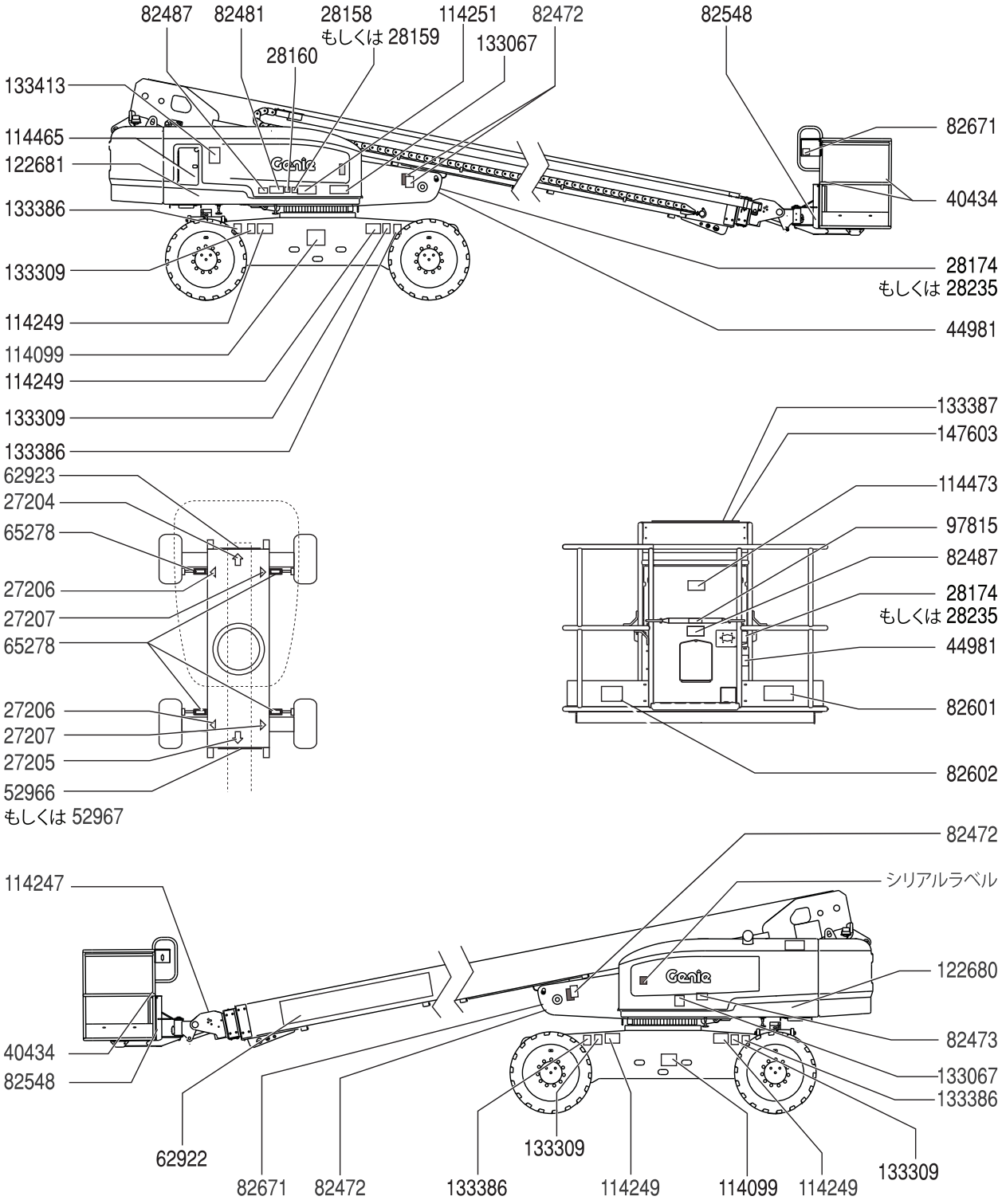
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

品番	ステッカーの説明	数量
27204	矢印 ― 青色	1
27205	矢印 ― 黄色	1
27206	三角 ― 青色	2
27207	三角 ― 黄色	2
28158	ラベル ― 無鉛	1
28159	ラベル ― ディーゼル	1
28160	ラベル ― 液化石油ガス	1
28174	ラベル ― 作業台への電力、230V	2
28235	ラベル ― 作業台への電力、115V	2
40434	ラベル ― 安全帯固定箇所	8
44981	ラベル ― 作業台への空気管 (オプション)	2
52966	外装 ― 4 x 2	1
52967	外装 ― 4 x 4	1
62922	外装 ― Genie S-85	1
62923	外装 ― S-85	2
65278	要注意 ― 踏まない	2
82472	ラベル ― 挟まる危険	5
82473	ラベル ― コンパートメントへのアクセス	1
82481	ラベル ― バッテリー/充電器の安全	1
82487	ラベル ― マニュアルを読む	2
82548	ラベル ― 作業台回転	2
82601	ラベル ― 最大積載量 227 kg	1
82602	ラベル ― 最大外圧、667 N、ANSI	1
82671	ラベル ― 作業台への溶接ライン (オプション)	2
97815	ラベル ― 中間レールを下げる	1
114099	ラベル ― 輸送図	2
114247	ラベル ― 落下の危険	1
114249	ラベル ― 転倒の危険、タイヤ	4
114251	ラベル ― 爆発の危険	1
114465	地上操作パネル	1
114473	ラベル ― 傾斜アラーム	1
133067	ラベル ― 感電の危険	2
133309	ラベル ― ホイール荷重、S-85	4
133386	ラベル ― タイヤ空気圧、ハイフローテーションタイヤ	4
133387	走行機能パッチ	1
133413	ラベル ― 緊急下降	1
147603	作業台操作パネル	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

点検


82487
82481
28158
もしくは 28159
28160
114251
133067
82472
82548
133413
114465
122681
133386
133309
114249
114099
114249
133309
133386
82671
40434
28174
もしくは 28235
44981
62923
27204
65278
27206
27207
65278
27206
27207
27205
52966
もしくは 52967
133387
147603
114473
97815
82487
28174
もしくは 28235
44981
82601
82602
114247
82472
シリアルラベル
122680
82473
133067
133386
40434
82548
62922
82671
82472
133386
133309
114249
114099
114249
133309

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

エンジンの始動

ガソリン/LPG モデル

1 地上操作で、キースイッチを目的の位置まで回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、ON（オン）の位置にあることを確認します。

3 燃料選択スイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方に動かします。エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。

ディーゼルモデル

1 地上操作で、キースイッチを目的の位置まで回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、ON（オン）の位置にあることを確認します。

グロープラグトグルスイッチ付きのモデル:

3 グロープラグスイッチをどちらか一方に動し、3〜5 秒そのままにします。

4 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方に動かします。エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。

自動グロープラグ付きのモデル:

5 自動グロープラグが作動しているときに、地上操作の LCD 画面にはグロープラグシンボルが表示されます。



6 自動グロープラグが作動すると、作業台ボックスのグロープラグ表示ライトが点灯します。

7 地上操作ボックスの自動グロープラグシンボルまたは作業台の表示がオフになった場合には、エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方に動かします。エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止してエンジンを切ります。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

操作手順

非常電源

主動力（エンジン）が停止した場合、非常動力を使用してください。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) の位置にします。

3 作業台から操作する場合は、ペダルスイッチを踏みます。

4 非常電源スイッチをいずれかの側に押したままにして、同時に必要な機能を作動させます。



走行およびステアリング機能は非常電源で作動しません。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) の位置にします。

3 ガソリン/LPG モデル：燃料選択スイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジンを始動させます。

作業台を位置につける

1 機能作動ボタンを押したままにします。



2 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

操作手順

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

3 ガソリン/LPG モデル：燃料選択スイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジンを始動させます。エンジンを始動するときは、ペダルスイッチを踏まないでください。

作業台を位置につける

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 操作パネルのマークに従って、適切な機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチをゆっくりと動かすか、適切なボタンを押します。

操舵

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 走行コントロールハンドルを青色もしくは黄色の三角が示す方向にゆっくり動かします。
もしくは、走行コントロー ハンドルの先端にあるロッカースイッチを押します。

作業台操作および走行シャーシにある色別された矢印マークを見ながら、ホイールの曲がる方向を確認してください。

走行

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 速度を上げるには、次の操作を行います。走行コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げるには、次の操作を行います。走行コントロールハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。走行コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

機械の走行速度はブームが上昇しているときは制限されます。

⚠ 傾斜面における走行

機械に対する上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、下り傾斜に作業台がある場合 (登坂能力):
2WD: 30% (17°)
4WD: 45% (24°)



最大定格勾配、上り斜面に作業台がある場合:
2WD: 15% (9°)
4WD: 30% (17°)



最大定格横勾配:
25% (14°)

注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。登坂能力という用語は、カウンターウェイトが上り坂にある構成の場合にのみ適用されます。

ブームが水平より低く、作業台が丸印側のホイールの間にあることを確認します。

走行速度選択スイッチを機械が傾斜面上にあることを示すシンボルの方向に動かします。

操作手順

傾斜勾配の確認:

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

- 水準器
- 最低 3 ft / 1 m の長さの真っ直ぐな木片
- 巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

谷側の端で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の端の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ(水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例:



木片の長さが 144 in (3.6 m) なら、

水平距離 = 144 in (3.6 m)

高さ = 12 in (0.3 m)

12 in ÷ 144 in = 0.083
0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083
0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜面の上または下に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

走行機能



表示ランプの点灯は、ブームが非操舵輪を超えて移動し、走行機能が妨げられたことを意味します。

走行するには、走行機能スイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

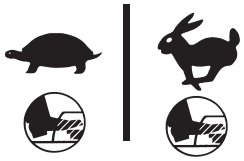
走行コントロール ハンドルおよび操舵コントロール ハンドルの方向とは反対の方向に機械が動く場合があるので、注意してください。

必ず作業台操作と走行シャーシの色分け矢印で、機械の進む方向を確認してください。

エンジン アイドリング選択 (rpm)

操作パネル上のシンボルで、エンジンアイドリング (rpm) を選択してください。

ペダルスイッチを踏んでいない場合、エンジンは低 rpm でアイドリングします。



- カメのシンボル:ペダルスイッチによる低アイドリング開始
- ウサギのシンボル:ペダルスイッチによる高アイドリング開始

操作手順

走行速度選択



- 機械が傾斜面上にあるシンボル：傾斜面または不整地での狭範囲操作
- 機械が水平面上にあるシンボル：最大走行速度用の広範囲運転

発電機（搭載している場合）

発電機を操作するには、発電機トグルスイッチをON（オン）の位置に動かします。

発電機が始動し、エンジンが動き続けます。ペダルスイッチを踏むと発電機が停止します。ペダルスイッチを離すと発電機が再び始動します。

電動工具のプラグを作業台用 GFCI コンセントに差し込みます。

発電機を停止するには、発電機トグルスイッチをオフの位置に動かします。

エンジン点検ランプ（搭載されている場合)



ランプが点灯し、エンジンが停止した場合、故障の貼り紙をつけて作業を中止してください。

ランプが点灯して、エンジンがまだ作動している場合、24 時間以内にサービス担当者に連絡してください。

非水平表示ランプ (搭載されている場合)



機械が水平でない場合にランプが点灯します。このランプが点灯している間、傾斜アラームが鳴ります。機械を安定した水平な地面に移動してください。

機械故障インジケーターランプ



ランプが点灯している場合は、すべての機能が停止しています。

1 赤色の緊急停止ボタンを押してから、引き出してください。

2 ブームを下げて収納します。

3 故障の貼り紙をつけて作業を中止してください。機能は作動しません。

操作手順

エンジンの停止

赤色非常停止ボタンを押し、キースイッチを回して OFF（オフ）の位置にします。

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが非操舵ホイールの間にくるように、ターンテーブルを回転させます。

4 キースイッチを OFF (オフ) の位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

航空機保護パッケージ (搭載されている場合)

作業台バンパーが航空機コンポーネントに接触すると、機械がシャットダウンして機能が動作しなくなります。

機能優先ボタンを押すか、スイッチを動かして機械を操作します。

エンジン運転停止表示ランプ（搭載されている場合）



ランプが点灯：故障の貼り紙をつけて作業を中止してください。

LCD 画面（搭載されている場合）



LCD 画面には、時間計、電圧、油圧および冷却水温度が表示されます。また、故障コードとその他の点検情報も表示されます。

Perkins エンジン

LCD 画面があり、Perkins ディーゼルエンジンを搭載している機械には再生モードがあるため、必要に応じて自動的に起動します。

左側の琥珀色のランプが点灯し、高温を知らせるテキストが表示されている場合：再生モードが起動しています。作業は必要ありません。

右側の琥珀色のランプが点灯または点滅している場合：再生モードの起動が必要です。

1 赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) の位置にします。

2 エンジンを再始動します。再生モードは自動的に起動します。

左側の琥珀色のランプが点灯し、高温を知らせるテキストが表示されていない場合：再生モードが停止しました。再生モードを開始するには：

1 赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) の位置にします。

2 エンジンを再始動します。

ランプが赤色に点滅している場合：サービス担当者に連絡してください。

ランプが緑色に点滅している場合：24 時間以内にサービス担当者に連絡してください。

Deutz エンジン

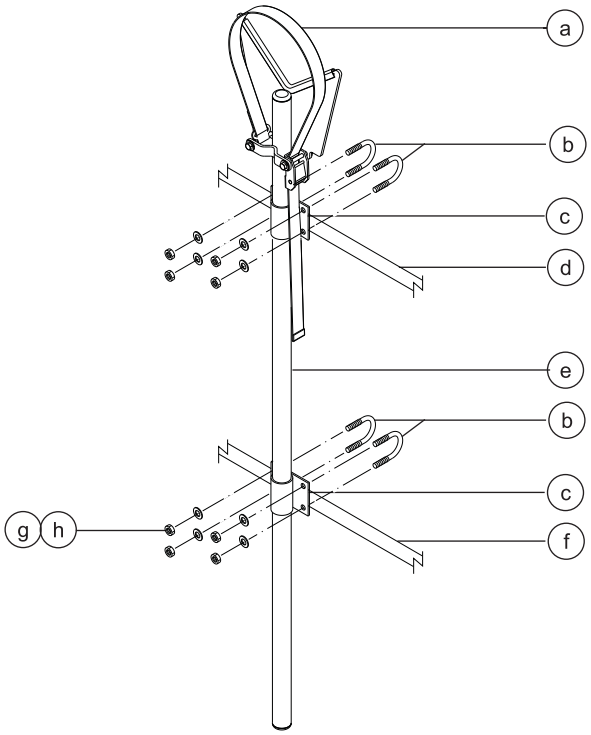
ランプが赤色に点滅している場合：サービス担当者に連絡してください。

ランプが緑色に点滅している場合：24 時間以内にサービス担当者に連絡してください。

操作手順

パイプクレードルの手順

パイプクレードルのアッセンブリは、作業台の両側のガードレールにそれぞれ U ボルトで取り付けられた 2 つのパイプクレードルから構成されます。



a ストラップ
b U ボルト
c パイプクレードル取り付け具
d 上部作業台手摺り
e パイプクレードル溶接部
f 中央部作業台手摺り
g 平ウォッシャー
h ナイロック ナット

必ず以下に従うこと。

☑ パイプクレードルを作業台の内側に取り付けてください。

☑ パイプクレードルが、作業台コントロールあるいは作業台の出入口の妨げにならないようにしてください。

☑ パイプクレードルチューブの底が、作業台床に載っている状態にしてください。

☑ パイプクレードルを取り付ける前に、作業台が水平状態であることを確認します。

パイプクレードルの取り付け

1 パイプクレードルを作業台の両側に取り付けます。左の手順を参照してください。パイプクレードルチューブの底が、作業台床に載っている状態にしてください。

2 2 つの U ボルトを、作業台レールの外側からパイプクレードル取り付け具を通して取り付けます。

3 それぞれの U ボルトを 2 個のウォッシャーと 2 個のナットで固定します。

操作手順

パイプクレードルの使い方

1 パイプクレードルの組み立ておよび取り付け手順に適切に従い、パイプクレードルが作業台の手摺りにしっかりと固定されていることを確認します。

2 積荷を両方のパイプクレードルに載るように置きます。積荷の奥行きが作業台の奥行きと平行になるようにします。

3 積荷をパイプクレードルの中心に置きます。

4 積荷をそれぞれのパイプクレードルに固定します。ナイロンストラップを積荷の上にかけます。バックルを押してストラップを通します。ストラップを締めます。

5 積荷をゆっくり押したり引いたりして、パイプクレードルと積荷が固定されていることを確認します。

6 機械が動いている間、積荷を固定したままにしてください。

⚠ 転倒の危険。パイプクレードルのアッセンブリとパイプクレードル内の積荷の重量は、機械の定格作業台積載荷重量に含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。

⚠ 転倒の危険。パイプクレードルのアッセンブリとパイプクレードルの積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が制限される可能性があります。

パイプクレードルの最大積載重量	
すべてのモデル	200 lbs 90.7 kg
パイプクレードルアッセンブリの重量	21 lbs 9.5 kg

パネルクレードルのアッセンブリ

1 各パネルクレードルの前面に、必要に応じて警告ステッカーを貼付してください。

2 パネルクレードルのベース部分にラバーバンパー 1 を取り付けます。図を参照してください。

3 バンパーをハイプロファイル ロックナット 2 つとウォッシャー 2 つで固定します。

パネルクレードルの取り付け

1 フックピースをパネルクレードルのベース部分のスロットに挿入します。

2 パネルクレードルを作業台の底部のチューブの希望する位置に掛けます。

3 ラバーバンパー 2 をパネルクレードル ベースとフックピースに通して取り付けます。図を参照してください。

4 ロープロファイル ロックナット 2 つで固定します。

5 パネルクレードルが作業台床のサポートチューブに取り付けられている場合、U ボルトを床側からチューブを囲むようして、パネルクレードルのベースに挿入します。

6 U ボルトをナット 2 つとウォッシャー 2 つで固定します。手順 9 に進みます。

7 パネルクレードルが作業台床のサポートチューブに取り付けられていない場合、付属のアルミニウムチューブを使用してください。

8 チューブをパネルクレードルと作業台床の間に置きます。U ボルトを床側からチューブを囲むようにしてパネルクレードルのベース部分に挿入します。

9 2 つ目のセットも同じようにして取り付けます。

操作手順

パッドの取り付け

1 作業台の手摺りにパッド 2 つを取り付けます。パネルが作業台の手摺りに接触しないよう、パッドの位置を決めます。

ストラップの取り付け

1 クランプを開き、作業台手摺りの垂直チューブを囲むように取り付けます。

2 クランプの片側からウォッシャーとボルトを挿入します。

3 ストラップアッセンブリのエンドプレートをボルトに取り付けます。

4 クランプのもう一方の側からボルトを挿入します。

5 ウォッシャーとナットで固定します。締めすぎないよう注意してください。ストラップアッセンブリのエンドプレートが作業台手摺りでスライドできるようにしてください。

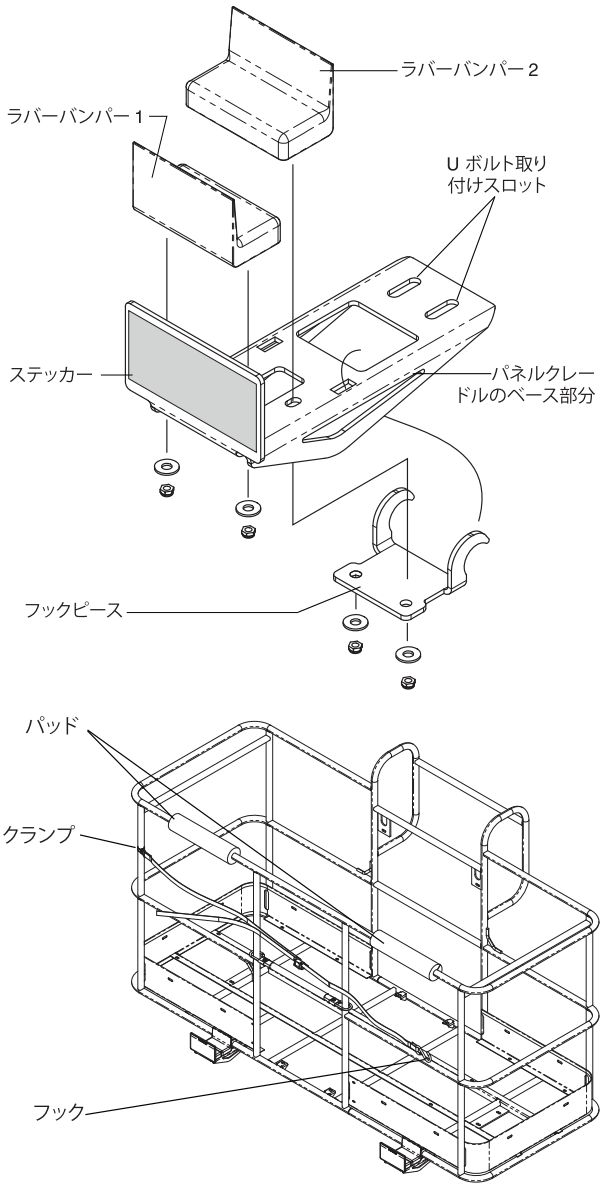
パネルクレードルの使い方

1 両方のパネルクレードルを作業台に固定します。

2 積荷を両方のパネルクレードルに載るように置きます。

3 積荷を作業台の中心に置きます。

4 ストラップを使って積荷を作業台に固定します。ストラップを締めます。



操作手順

牽引装置本体の使用

牽引の前に、以下を行います。

1 水平な地面に機械を置きます。機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 牽引棒を機械にしっかりと取り付けます。牽引棒を牽引車両にしっかりと取り付けます。

3 走行ハブ取外しキャップを回転させて、走行トルクハブを解除します。

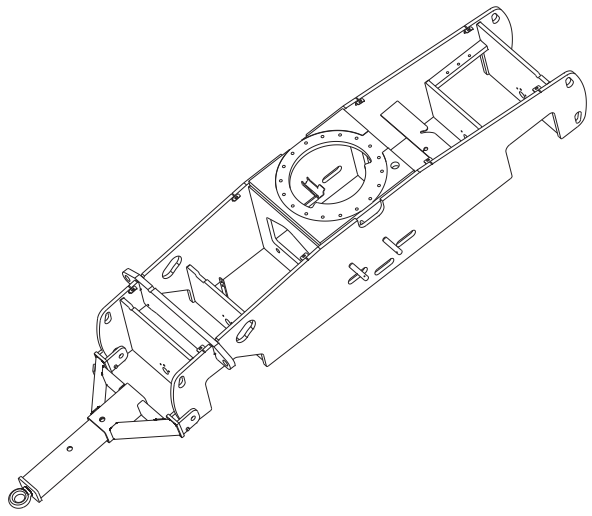
4 4WD モデル：走行取外しキャップを回転させて、前部の走行トルクハブを解除します。

5 ステアリングの油圧解除を行うには、ステアリングバイパス弁を反時計回りに回転します。

⚠ 警告

推奨している最大牽引速度、または最大牽引時間を超えてはいけません。

最大牽引速度	**12.87 km/時**
時速 13 km での最大牽引時間	**30 分**
時速 10 km での最大牽引時間	**60 分**

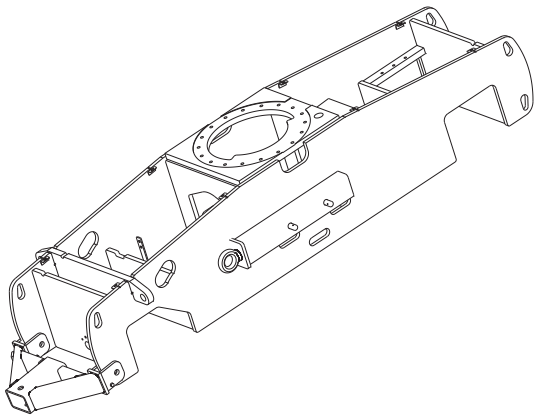


牽引後に：

1 牽引後すぐに、輪止めをかまして、牽引棒を取り外し走行ハブ取り外しキャップを反対に回してください。

2 牽引棒を機械の元の場所に固定します。

3 機械の操作に戻る前に、水平な地面で操舵、走行およびブレーキ機能をテストしてください。「機能テスト」を参照してください。



輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ Genie は、以下の装置の輸送および設置に関する情報を 1 つの提案として提示します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。

☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。

☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた高所リフト作業員のみが行ってください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

☑ 輸送の前に、ターンテーブルがターンテーブル旋回ロックで固定されていることを確認してください。操作を始める前に、ターンテーブルのロックが解除されていることを確認してください。

☑ 機械の定格勾配を超える上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

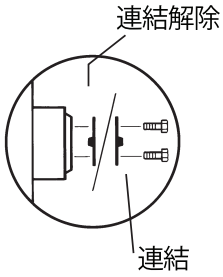
☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

ウィンチ用のフリーホイール設定

機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2WD モデル：走行ハブ取外しキャップを裏返して、非操舵輪のブレーキを解除します。

4WD モデル：4 輪すべての走行ハブ取外しキャップを反転させて、ホイールブレーキを解除します。



シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

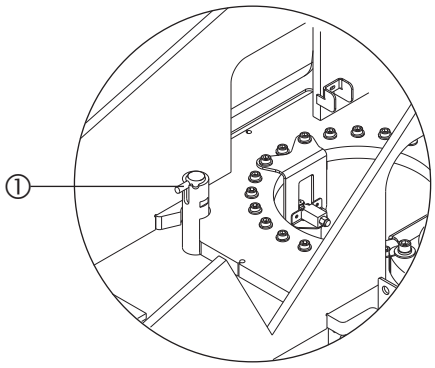
再びブレーキをかけるには逆の手順を行ってください。

注記：ポンプのフリーホイール弁は常に閉じていなければいけません。

輸送および持ち上げの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

機械を輸送するときは、ターンテーブル旋回ロックピンを必ず使用してください。



1　ターンテーブル旋回ロックピン

輸送の前にキースイッチを OFF（オフ）の位置に回し、キーを取り外してください。

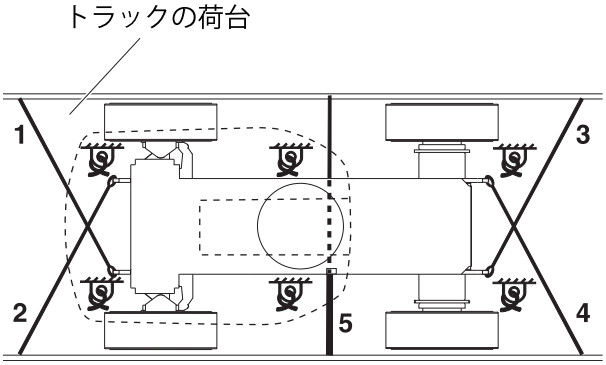
緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

シャーシの固定

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

チェーンを最低 5 本使用してください。

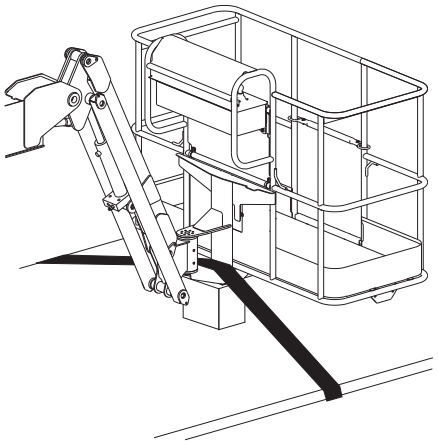
チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。



作業台の固定 － S-85

作業台回転装置の下にブロックを置きます。ブロックが作業台シリンダーに接触しないようにします。

下部にある作業台サポートにナイロンのストラップを通して、作業台を固定します。ブームを固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。



輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ 機械の組み立ておよび持ち上げを行うときは、必ず認定されている整備工が行ってください。

☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。

持ち上げの手順

ブームを完全に下げて収縮します。機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

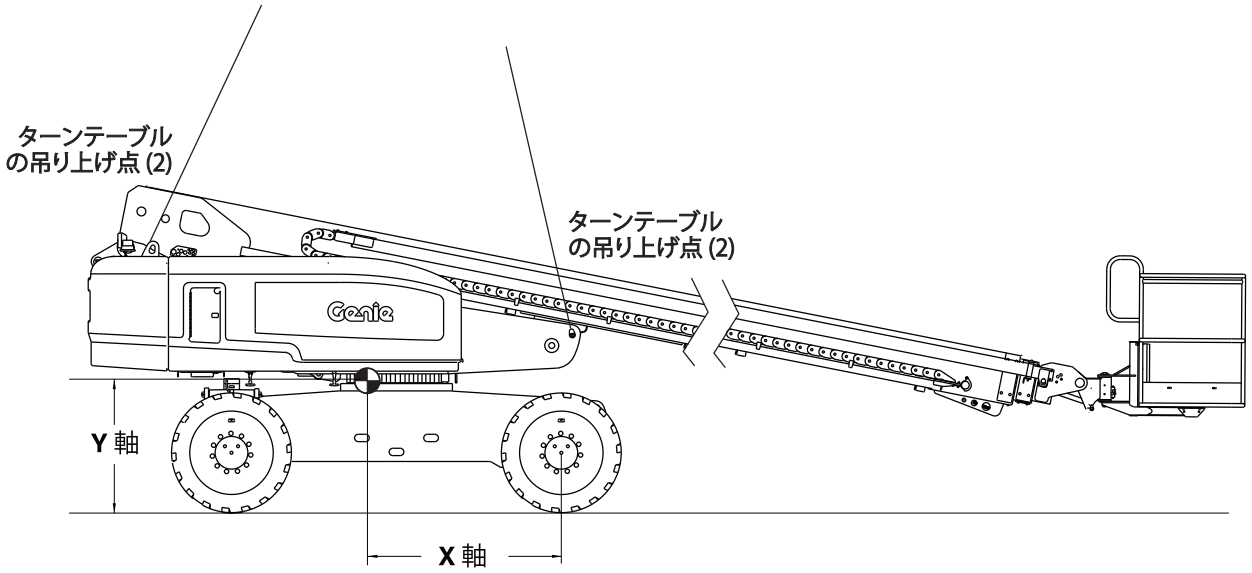
ターンテーブル旋回ロックを使い、ターンテーブルを固定してください。

このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。4 つのすべての吊り上げ点はターンテーブル上にあります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

重心	X 軸	Y 軸
S-85	62.54 in	52.73 in
	1.59 m	1.34 m



メンテナンス



必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

☑ Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

メンテナンス記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。

この手順を行うために、工具が必要です。

この手順を行うために、新たな部品が必要です。

この手順を行う場合には、エンジンが冷えた状態になっていなければなりません。

エンジンオイル量の点検

エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。オイル量が不適切な状態で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注記:オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。

Continental TME27 エンジン	
オイルタイプ	5W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-40
Perkins 804D-33 エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-20
Perkins 404D-22T エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-40
Perkins 404F-22T エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-40
Deutz TD2011 L04i エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-40
Deutz TD2.9L エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-40

ディーゼル燃料要件

エンジンの性能は、使用する燃料の品質によって影響を受けます。高品質の燃料を使用すると、エンジンの寿命が長くなり、排出ガスの放出レベルが許容範囲内になるという利点があります。

各エンジンに対応する最低ディーゼル燃料要件は以下に一覧にしています。

Perkins 804D-33 エンジン	
燃料タイプ	低硫黄燃料（LSD）
Perkins 404D-22T エンジン	
燃料タイプ	低硫黄燃料（LSD）
Perkins 404F-22T エンジン	
燃料タイプ	超低硫黄燃料（ULSD）
Deutz D2011 L04i エンジン	
燃料タイプ	低硫黄燃料（LSD）
Deutz TD2.9L エンジン	
燃料タイプ	超低硫黄燃料（ULSD）

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 ブームが収納位置にあることを確認します。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。

⊙ 結果：作動油の量は表示計の上から 2 in / 5 cm 内にしなければいけません。

3 必要に応じてオイルを補充してください。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD 相当物

メンテナンス

エンジン冷却液量の点検 ー 液冷モデル



エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことはエンジンを長持ちさせるのに非常に重要です。冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化で、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

⚠ やけどの危険。熱くなっているエンジン部分と冷却液に注意してください。熱くなっているエンジン部分や冷却液に触れると、重度の火傷を負うことがあります。

⚠ やけどの危険。エンジンの始動中はラジエーターのキャップを外さないでください。加圧された冷却水に触れると、重度の火傷を負うことがあります。ラジエーターのキャップを取り外す前にエンジンを冷却してください。

1 冷却液回収タンク内の液量をチェックします。必要に応じて液を足してください。

⊙ 結果：液の量はタンクまたは表示計でFULL（満タン）を指している必要があります。

バッテリーの点検



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットが適切な位置にしっかりと取り付けられているか確認します。

注記：端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

メンテナンス

タイヤ空気圧の点検



注記:この手順は、フォームタイヤを装備している機械では必要ありません。

⚠ 人体への傷害の危険。タイヤの空気圧を高くしすぎると破裂するおそれがあり、重傷を負ったり死に至る場合があります。

⚠ 転倒の危険。パンク修理剤を使用してタイヤを一時的に補修しないでください。

機械の安定性を保ち、最適な条件のもとで機械を使用し、タイヤの消耗を最小限に抑えるためには、すべてのタイヤの空気圧を適切に保持することが大切です。

1 各タイヤを空気圧計でチェックします。必要に応じて空気を入れてください。

高フローテーションタイヤ空気圧	70 psi	4.8 バール

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

仕様

モデル		S-85
高さ、操作時最大	91 ft	27.7 m
高さ、作業台最大	85 ft	25.9 m
高さ、収納時最大	9 ft 2 in	2.8 m
水平最大到達距離	76 ft 6 in	23.3 m
幅、フォームタイヤ	8 ft 2 in	2.5 m
幅、ハイフローテーションタイヤ	8 ft 6 in	2.6 m
長さ、作業台収納時	40 ft 0 in	12.2 m
最大積載荷重	500 lbs	227 kg
最大風速	28 mph	12.5 m/s
ホイールベース	9 ft 4 in	2.8 m
旋回半径 (外側)	21 ft 6 in	6.6 m
旋回半径 (内側)	12 ft	3.7 m
ターンテーブル回転角度(度)		停止なし
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	4 ft 8 in	1.4 m
操作パネル		12V DC 比例
作業台寸法、6 foot/183 cm (奥行き x 幅)	72 x 30 in	182 x 76 cm
作業台寸法、8 foot/243cm (奥行き x 幅)	96 x 36 in	244 x 91 cm
作業台水平維持		自動水平維持
作業台回転角度		160°
作業台 AC コンセント		標準
システム電圧		12V
油圧、最大(ブーム機能)	2900 psi	200 bar
最低地上高	13 in	33 cm
燃料タンク容量、ディーゼル	35 gallons	132 liters
燃料タンク容量、ガソリン	30 gallons	113.6 liters
タイヤ サイズ		18-625, 16 ply FF
タイヤサイズ、ハイフローテーション		41/18LL x 22.5, 14 ply
機械による騒音		106 dB
標準的な作業場での最大音量 (A 特性騒音レベル)		
重量	38,000 lbs	17,237 kg
(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。)		

最大定格勾配、収納状態、2WD		
作業台が上がり傾斜にある場合	30%	(17°)
作業台が下り傾斜にある場合	15%	(9°)
横勾配	25%	(14°)
最大定格勾配、収納状態、4WD		
作業台が上がり傾斜にある場合	45%	(24°)
作業台が下り傾斜にある場合	30%	(17°)
横勾配	25%	(14°)

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

走行速度		
走行速度、収納時	3.3 mph 40 ft/8.2 sec	5.4 km/h 12.2 m/8.2 sec
走行速度、上昇または伸長時	0.68 mph 40 ft/40 sec	1.1 km/h 12.2 m/44 sec

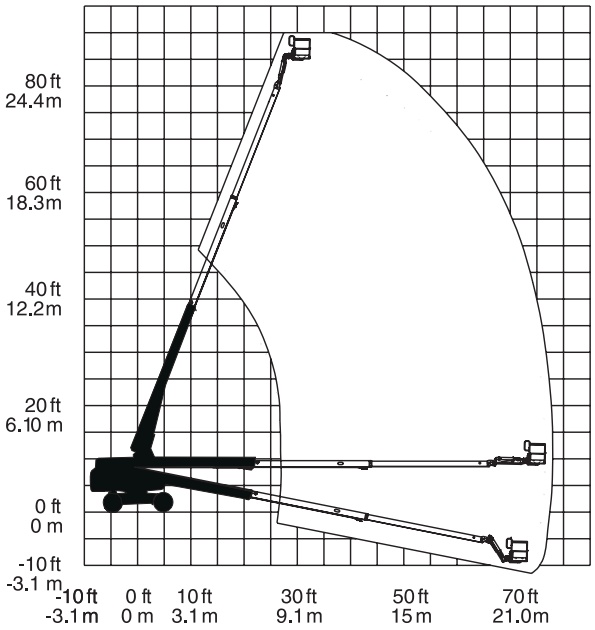
床荷重表		
最大輪荷重	17,558 lbs	7961 kg
タイヤ接地圧	100 psi	7.03 kg/cm^2 690 kPa
車体占有面の平均圧力	365 psf	1782 kg/m^2 17.5 kPa

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

S-85 動作範囲


80 ft
24.4m
60 ft
18.3m
40 ft
12.2m
20 ft
6.10 m
0 ft
0 m
-10 ft
-3.1 m
-10 ft
-3.1 m
0 ft
0 m
10 ft
3.1 m
30 ft
9.1 m
50 ft
15 m
70 ft
21.0m

www.genielift.com

代理店: